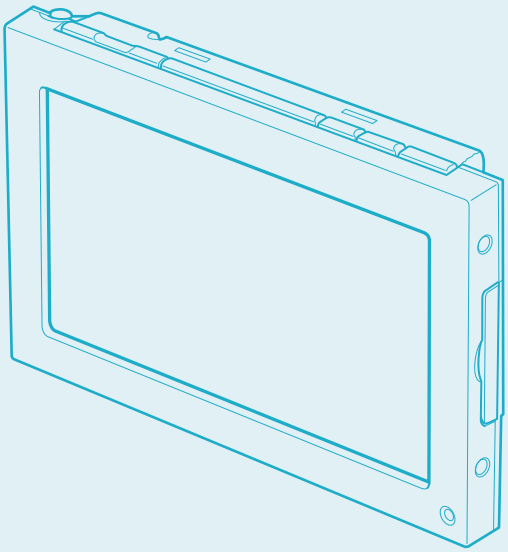
パーソナルナビゲーション
Personal Navigation

CiVi DTN-X700

取扱説明書



商標と著作権

①本書の内容の一部または全部を無断で転載する事を禁じます。
②本書の内容および含まれている情報は、予告なく変更される事があります。
③本書の内容には万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
④弊社では、本製品を運用した結果の影響につきましては、③項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
⑤本書内で指示されている内容には、必ず従ってください。本書に記載されている内容を無視した行為や誤った操作によって生じた障害および損害については、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。
Microsoft、Windows Media および Windows のロゴは米国およびその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。
マップコード、MAPCODE は株式会社デンソーの登録商標です。
SD ロゴは商標です。
本書に記載の社名または製品名は、各社の商標または登録商標です。

目次

安全上のご注意

安全上のご注意 iii
　絵表示について iii
　安全上のご注意［本体］ iv
タッチスクリーンについて vii
内蔵 GPS アンテナについて viii
取付キットについて viii
SD カードについて viii

1　はじめに

ナビゲーションの特徴 1
その他の特徴 2
パッケージ内容の確認 3
取り付けキットの使い方 4
電源を入れるには 6
　車内での使用 6
　充電の仕方 6
各部の名称 8
各部の動作 9
スタイラスペンを使うには 10
表示について 11
　メインメニューについて 11
　画面表示について 11
　ナビゲーションについて 12
　エンタテインメントメニューについて 14
　設定メニューについて 15
基本の操作 16
　電源の入れ方・切り方 16
　タッチスクリーンの操作方法 17
　音量の調節 17

2　ナビゲーションの基本操作

ナビゲーションの起動 18
ナビゲーションの終了 18
現在地画面 19
地図スクロール画面 20
地図のスケールを変える 21
地図画面の表示について 21
　地図表示の向きについて 21
　地図画面の配色について 22
ナビゲーションメニューを表示する 22
各設定画面の基本操作 23
　リスト表示の画面操作 23
　タブ表示の画面操作 23
　チェックボックス表示の画面操作 23
　［現在地］ 23
　［もどる］ 23
地図記号一覧 24

3　場所（行き先）を探す

地図画面で探す 25
住所で探す 26
電話番号で探す 28
名称で探す 29
マップコードで探す 30
周辺の施設を探す 31
ジャンルで探す 32
登録した場所（登録地）から探す 34
検索履歴から探す 35
　検索履歴を消去する 36
探した場所の地図を見る 36

4　ルート誘導

ルートを探索する 37
　探索条件を変更して再探索する 38
　ルートを削除する 39
ルートを変更する 39
ルート誘導を開始する 40
ルート誘導中の案内について 41
　ラリービュー画面 42
　ハイウェイモード 43
　音声による誘導 44
オートリルートについて 44
　経由地が設定されている場合 44
　リルートを「手動」に設定している場合 45
条件を変えてルートを探索させる 45
ルート誘導中に周辺施設を探す 46
ルートを削除する 46

目次

5　経由地／登録地／現在地修正

経由地を設定する……47
　経由地を削除／変更する……47
地点を登録する（登録地）……48
登録地を編集する……49
登録地を削除する……50
現在地を修正する……50

6　ナビ設定

ルート探索条件の設定を変更する……51
リルートの設定を変更する……51
地図の配色を変更する……52
地図表示の向きを変更する……52
地図のアイコン表示を変更する……53
走行軌跡表示を変更する……53
走行軌跡を消去する……54
設定をご購入時の状態に戻す……54
GPS の測位状態を確認する……55
デモ走行でルート誘導を確認する……56
ナビゲーションを終了する……57

7　ナビゲーションについて

ナビゲーションのしくみ……58
　GPS による測位……58
　マップマッチング……58
　誤差について……58
収録されている地図情報について……60
　電話番号検索のデータについて……60
　アイコン表示について……60
　ルートに関する注意事項……60

8　ワンセグ TV

ワンセグ TV メニューについて……62
ワンセグ TV を初めて使う……63
ワンセグ TV を見る……64
視聴中の局の情報を見る……65
音声を切り換える……65
ワンセグ TV の字幕を設定する……66
ワンセグ TV の検索方法を設定する……66

9　データ再生と設定

ナビゲーションから他のデータ再生へ
切り換える……67
再生するデータのダウンロードについて……68
SD カードの取り扱い……70
動画を再生する……71
動画の再生・停止……72
動画の早送り・早戻し・選択……73
画面サイズを変更する……73
音楽を聴く……74
曲の再生・停止……75
曲の早送り・早戻し・選曲……75
写真を再生……76
写真の表示・スライドショー……77
写真の選択……77
設定を変更する……78
明るさを設定する……79
バッテリー状態を確認する……79
音量を設定する……80
画面調整……80
FM トランスミッター……81

10　その他

FM トランスミッター用アンテナの
取り付け……82
本機のリセット方法……82
故障かなと思ったら……83
サポートセンターへのお問い合わせ方法……85
　サポートに必要な情報……85
　トライウインサポートセンター……85
　無償修理規定……85
IPN データ権利文言……87
　地図について……87
　交通規制データについて……87
使用許諾契約書……89
仕様……91

安全上のご注意

ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られる場所に保証書と共に大切に保管してください。

絵表示について

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警 告 **この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**

⚠注 意 **この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害発生が想定される内容を示しています。**

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。

安全上のご注意［本体］

⚠ 警　告

- 必ず DC 12 V 車または DC 24 V 車で使用してください。火災や故障の原因になります。本機は DC 12 V 車または DC 24 V 車（大型トラックなど）以外には使用できません。
- 運転に支障をきたす場所には、絶対に取り付けないでください。運転に支障をきたす場所（ハンドル、シフトレバー、ブレーキペダル付近など）への取り付けは、交通事故やけがの原因になります。
- エアバックの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けないでください。エアバックの動作を妨げる場所への取り付けは、緊急時のエアバックの不動作やエアバックが膨らむ際に本機が外れて交通事故やけがの原因になります。
- 前方・後方の視界やバックミラーを妨げる場所、同乗者に危険をおよぼす場所へは取り付けないでください。交通事故やけがの原因になります。
- 実際の交通規制に従って走行してください。交通事故やけがなどの原因になります。ルート誘導中でも、必ず道路標識など実際の交通規制に従って運転してください。時間の経過により、設定されたルートが通れないなど交通規制に反する場合があります。運転の際は必ず実際の交通標識に従ってください。ナビゲーションの画面に表示される情報や建物や道路などの形状は実際と異なる場合があります。
- 運転中や歩行中は画面を見たり、ナビゲーションの操作をしないでください。交通事故やけがの原因となります。運転中は安全な場所に停車し、歩行中は安全な場所に立ち止まってから画面を見てください。

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、シガー電源アダプターをご使用の際は、必ずシガー電源アダプターをシガーライターソケットから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してサポートセンターに修理をご依頼ください。
- 万一内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、シガー電源アダプターをご使用の際は、シガー電源アダプターをシガーライターソケットから抜いてサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一機器の内部に異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、シガー電源アダプターをご使用の際は、シガー電源アダプターをシガーライターソケットから抜いてサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

水場での
使用禁止

警　告

- 雷が鳴り出したら、シガー電源アダプターをご使用の際は、シガー電源アダプターには触れないでください。感電の原因となります。

接触禁止

- この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

水濡れ禁止

- シガーライターソケットのタコ足配線はしないでください。火災や加熱によるやけどの原因となります。

- 万一、この機器を落したり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、シガー電源アダプターをご使用の際は、シガー電源アダプターをシガーライターソケットから抜いてサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- この機器の内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- この機器の上や近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。
- タッチスクリーン部に強い力を加えたり、鋭利なもので押さないでください。タッチスクリーン部が破損する原因となります。

- この機器のキャビネットは絶対外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・設備・修理はサポートセンターにご依頼ください。
- この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

分解禁止

注　意

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

- 運転中の音量は、周囲の音が聞こえる程度の音量にしてください。音量が大きくなり過ぎると、交通事故の原因となることがあります。
- 自動車やバイク、自転車の運転中は、イヤホンでのご使用はおやめください。運転の妨げとなり、違法となる場合があります。
- 本機の電源を入れたら、まず音量（ボリューム）を最適なレベルに調節してください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。また、本機をスピーカーを使ってお楽しみになる前には、音量（ボリューム）を最小にしてください。
- イヤホンやスピーカー等を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱しやけどの原因となることがあります。
- 大音量で長時間音楽を聴き続けると、聴力に支障をきたす場合がありますのでご注意ください。万一、耳鳴がする場合にはご使用を中断してください。

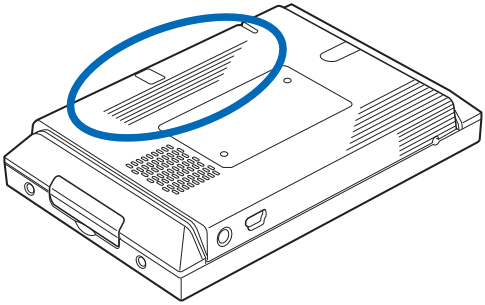
- シガーライターソケットから充電を行っている場合は、長時間エンジンを停止しないでください。車のバッテリーが上がる恐れがあります。
- 車に取り付ける際には、必ず付属の取付キットを使って、指示通りに取り付けを行ってください。本機が正しく取り付けられていなかったり、他の器具にて本機が取り付けられていると、本機が落下して故障やけがの原因となることがあります。
- ETC のアンテナ部分や他の機器のアンテナやセンサー部分を隠すような取り付け方はしないでください。それらの機器が正常に働かない場合があります。
- タッチスクリーンは指先、または付属のスタイラスペンを使って操作してください。他の機器用のスタイラスペンやボールペン・シャープペンシルのペン先、その他先の尖ったもの等でタッチスクリーンに触れると、誤動作やタッチスクリーンの故障の原因となることがあります。
- 変形したり、傷ついた SD カードを本機に入れないでください。本機の故障や誤動作の原因となることがあります。
- 万一、SD カードが取り出せなくなったときは、無理に取り出そうとせずに、サポートセンターにお問い合わせください。無理に取り出そうとすると本機の故障の原因となることがあります。

タッチスクリーンについて

- タッチスクリーンやタッチスクリーン外周を強く押さないでください。タッチスクリーンに強い圧力をかけると、液晶の劣化や液晶の故障の原因となります。お手入れの際にもお気をつけください。タッチスクリーンは液晶を使用しています。この液晶は高い品質管理の元に製造されておりますが、液晶のドット抜けおよび液晶の色むらが出ることがあります。これは液晶を使用したタッチスクリーンの特性によるもので本機の故障ではありません。また、液晶のドット抜けにより赤(または緑、青)色の点が表示されることがありますが、これも液晶パネルの特性によるもので本機の故障ではありません。
- 極端に温度の低い場所や高い場所に、本機を放置しますと液晶の劣化や液晶の故障の原因となります。
- 周囲の温度が低いときや高いときには、タッチスクリーンの表示が見えづらくなったり、反応がにぶくなったりします。これは、液晶を使用したタッチスクリーンの特性によるもので本機の故障ではありません。
- タッチスクリーンを硬いものや先の尖ったもので押さないでください。タッチスクリーンが傷つくおそれがあります。
- タッチスクリーンを固い布や強い力で拭かないでください。液晶の劣化や液晶パネルを傷つける原因となります。
- タッチスクリーンのお手入れは、次のように行ってください。
  - 水で薄めた中性洗剤を柔らかい布に含ませてください。
  - 布をよく絞ってください。
  - 絞った布で、タッチスクリーンを強く押さないように、軽く拭いてください。
- パネルが破損した場合は、パネル内部には絶対に触れないでください。

内蔵 GPS アンテナについて

- 本機の上部に GPS アンテナが内蔵されています。従って、この部分を何かで覆われていたり、この上に遮蔽物があったりすると、本機の性能を充分に発揮することができません。



取付キットについて

- 取付キットは、運転に支障をきたさない位置、またエアバック等の安全装置の働きを妨げない位置にお取り付けください。また、お取り付けの際には、取り付けようとする場所の強度が充分にあるかをご確認ください。
- 取付キットは、その一部だけを使う、または他の器具と組み合わせて使うなどのご使用はおやめください。本機の落下する原因となることがあります。
- 取付キットの吸盤付きステーは、吸盤ベースを利用して車に取り付けるようになっています。したがって、吸盤ベースの取り付ける場所は、水平で滑らかな場所を選んでください。

SD カードについて

- 本機は、音楽、動画(ムービー)、画像データを SD カードに入れて使用します。
- 本機の電源が入っているときに、SD カードを抜き差ししないでください。本機の故障や誤動作の原因となることがあります。また、SD カード内のデータを破損や損失する恐れがあります。
- SD カード内の Music、Media、Photo 以外のフォルダーにデータは入れないでください。再生できなくなります。
- ごくまれに、正常にお使いになっていても SD カード内のデータの一部または全てが読み取れなくなってしまうことがあります。この様な場合に備えて、SD カード内のデータはバックアップを取っておくようにお願いします。

ナビゲーションの特徴

高性能！ルート探索＆誘導！

- カーナビで実績を積んだ高性能ルート探索エンジンを搭載！
- おすすめ、距離優先、主要道を優先、有料道回避などドライブプランに合わせた探索条件でドライブをサポートします。
- 高速道路・有料道路は専用のハイウェイモードでわかりやすくご案内！
- 交差点がわかりやすい、オートズーム交差点誘導機能！
  レーン情報や方面看板でドライバーをアシストします。

多彩な地点検索機能はポータブル随一！

- 日本全国番地までの住所検索、電話番号検索や名称、ジャンル、周辺からのスポット検索も標準装備。
  検索手段が豊富、だから探しやすい！
- 検索情報は 2000 万件以上！

見やすさに実績があるデジタル地図採用！

- 信頼の地図サービス「MapFan」で実績を積んだデジタル地図を採用！
- 縮尺 1/6,250 を含む道路地図を、日本全国 11 段階でフルカバー！

マップコード対応

- コード入力をするだけで目的地を設定できます。

その他の主な機能

- 経由地を指定するルート探索
- 地点登録機能
- 検索履歴機能
- オートリルート
- ヘディングアップ、ノースアップの地図表示方向切替え
- 音声案内
- 走行軌跡表示
- 地図上への店舗ロゴマーク表示

その他の特徴

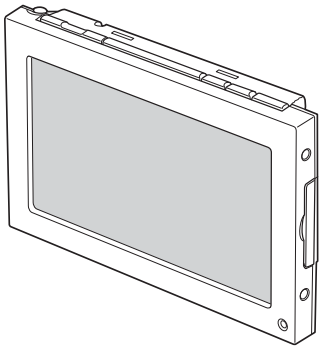
- ワンセグ放送の受信が可能：EPG（電子番組表）、字幕対応
- 音楽・ムービー・写真再生が可能
- 音楽リストから MP3、OGG、WMA、WAV ファイルの再生が可能
- ムービーリストから AVI、WMV、MPEG4（Xvid 1.0）ファイルの再生が可能（但し、ファイルにより再生できない場合があります。）
- 写真リストから JPEG、BMP ファイルの再生が可能
- 音楽・ムービー・写真ファイルは、便利なリスト表示
- 日本語に対応
- FM トランスミッター機能を使って、本機の音声を車の FM ラジオで受信可能
- 内蔵スピーカー、イヤホンの切り替え可能
- 4.3″ TFT タッチスクリーン
- 内蔵リチウムイオン充電池を使用し、約 3.5 時間の動作が可能（ナビ表示画面状態にて）
- バッテリー残量表示
- 本体の寸法は（突起物を含まず）（mm）：117（W）× 79（H）× 18（D）
- 重量：約 200g（内蔵充電池含む）

パッケージ内容の確認

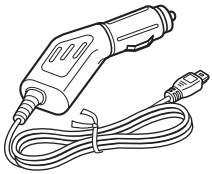
重要

- お買い求めになられて、ご使用の前に下記の物が梱包されていることをご確認ください。万一、不足がある場合は、弊社のサポートセンターまでご連絡ください。

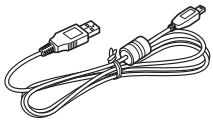
- DTN-X700 パーソナルナビゲーション本体



- シガー電源アダプター

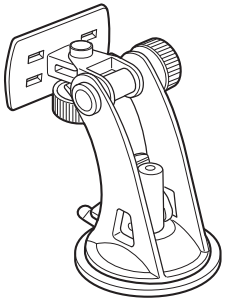


- USB ケーブル

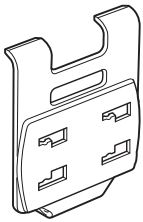


- スタイラスペン（本機背面に装着）

- 取付キット（吸盤付きステー、本体固定ホルダー、吸盤ベース）



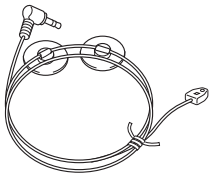
吸盤付きステー



本体固定ホルダー

吸盤ベース

- FM トランスミッター用アンテナ



- 取扱説明書（本書）
- 保証書

注意

- 吸盤付きステーと本体固定ホルダーの取り付けにつきましては、車内での使用における安全性に考慮して、設計上固く取り付けるようにしてあります。

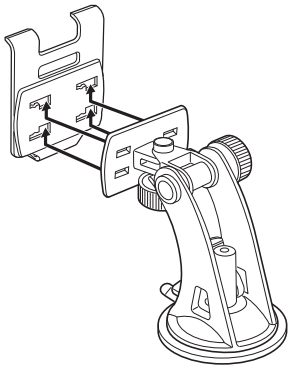
取り付けキットの使い方

付属の取り付けキット（吸盤付きステー、本体固定ホルダー、吸盤ベース）を使って、車などに本機を取り付けます。

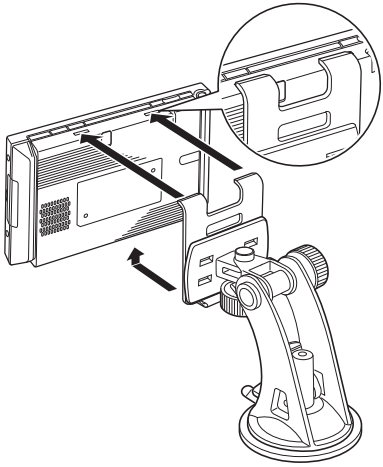
警告

- 車などに取り付ける際には、運転に支障となる場所には取り付けないでください。
  交通事故やけがの原因となります。
- シートベルトやエアバック等の安全装置の働きを妨げる場所には、取り付けないでください。
  事故の際に、安全装置が働かず、けがの原因となります。

1 吸盤付きステーと本体固定ホルダーを取り付け、カチッという音が鳴るまでステー固定ホルダーを右側にスライドする

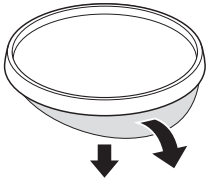


2 本機上部から本体固定ホルダーをはめ、次に下部側をはめる



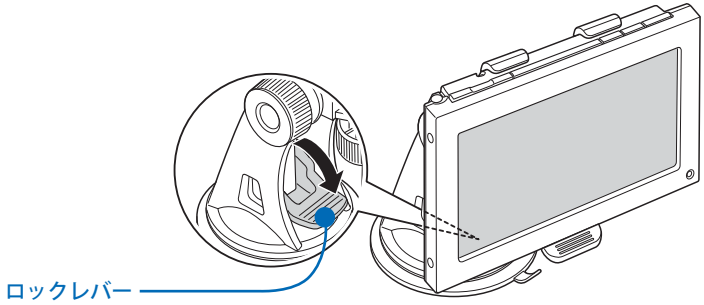
3 吸盤ベースを取り付けられる平らな場所を選び、その場所のホコリや油などをきれいに取り除く

4 吸盤ベースの底に付いているテープを剥がし、固定する



5 吸盤ベースの上に、吸盤付きステーを置き、ロックレバーを押し下げる

吸盤ベースから吸盤付きステーを外すには、ロックレバーを押し上げてから、吸盤部分のタブを上に引っ張ってください。



6 取り付けた各部位がしっかり固定されているか確認する

注意

- 取り付けの際には、必ず付属している器具や部品で取り付けてください。他の器具や部品を使うと、本機の脱落や本機を破損する恐れがあります。

電源を入れるには

警告

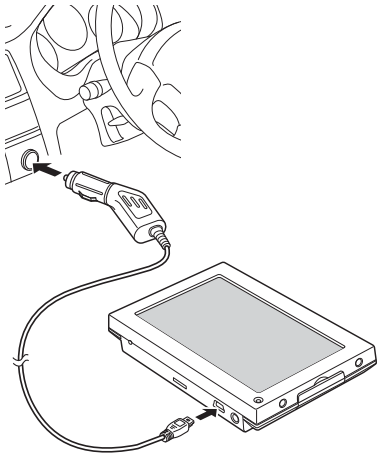
- 付属のシガー電源アダプターは、車のエンジンをスタートさせてから、接続してください。付属のシガー電源アダプターを接続させてから、車のエンジンをスタートさせると、急激な電圧上昇により、本機の故障や不具合の原因となることがあります。

重要

- お買い求めになられた製品は充電されておりません。シガー電源アダプターを接続してお使いいただくか、充電を行ってからお使いください。

車内での使用

1 本機の USB 接続端子と付属シガー電源アダプターの USB プラグを接続する



2 接続した付属シガー電源アダプターとシガーライタープラグを、車のシガーライターソケットに挿入する

3 本機の電源を入れる

充電の仕方

警告

- 付属のシガー電源アダプターは 12V 車または 24 V 車でご使用になれます。電圧の異なる車で使用されると、発熱や故障の原因となります。お使いになる車の電圧が分からない場合は、車をお買い上げになった販売店等にお問い合わせください。

重要

- 車種により、シガー電源アダプターで充電ができない場合や充電が完了にならない場合があります。

1 本機の USB 接続端子と付属シガー電源アダプターの USB プラグを接続する

2 接続した付属シガー電源アダプターのシガーライタープラグを車のシガーライターソケットに挿入する

3 充電インジケーターが赤色に点灯したことを確かめる

充電インジケーターが緑色になれば充電完了です。初めて充電する場合や長期間ご使用にならなかった場合は、充電が完了するまで約 3 時間以上かかる場合があります。

4 付属シガー電源アダプターのシガーライタープラグを車のシガーライターソケットから外す

付属のシガー電源アダプターのUSBプラグを本機のUSB接続端子から外してください。

警告

- シガーライターソケットのタコ足配線はしないでください。火災や加熱によるやけどの原因となります。

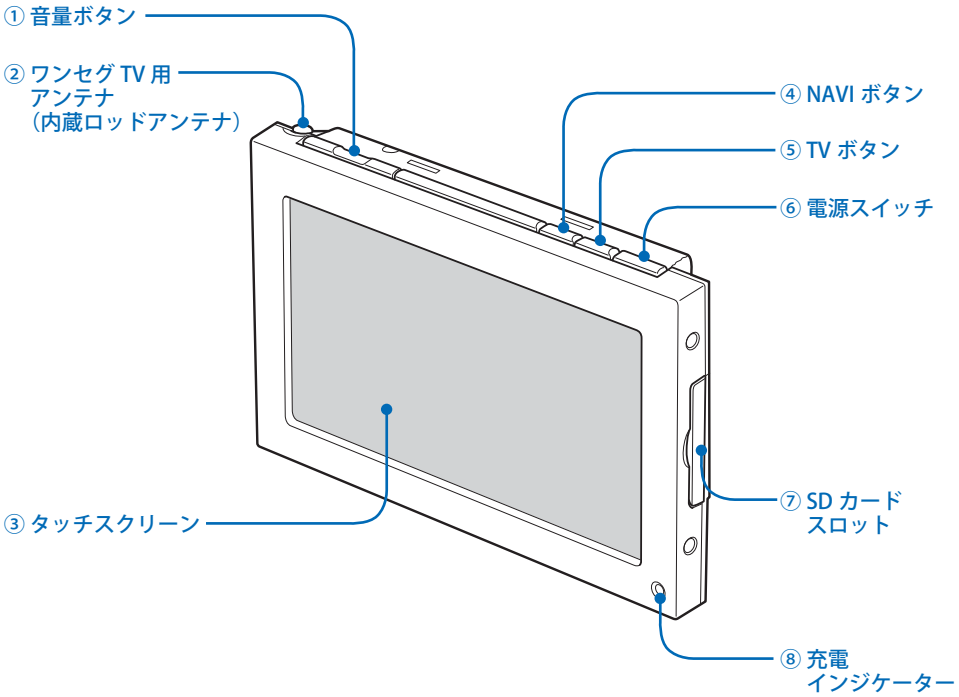
注意

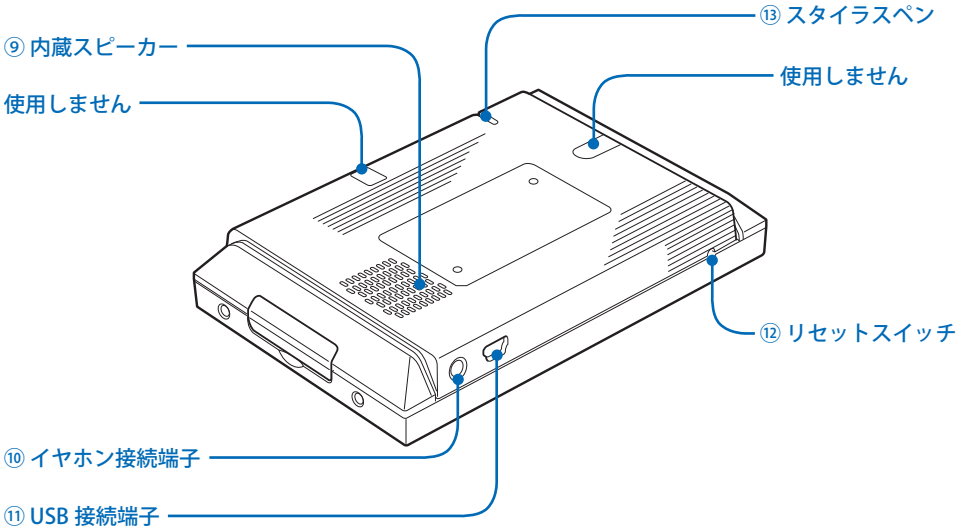
- シガーライターソケットから充電を行っている場合は、長時間エンジンを停止しないでください。車のバッテリーが上がる恐れがあります。
- 充電を行う場合は、必ず本機の電源がオフの状態で行ってください。
- バッテリーの残量が少なくなると、「バッテリーの残量が少なくなりました。できる限り早く充電してください。」とメッセージがでます。このメッセージが出たら、速やかに充電を行ってください。

メモ

- バッテリーの残量は、メインメニューにて「設定」を選び、設定メニューから「電池残量」を選んでいただくことで、ご確認いただけます。←(P79)
- 付属のUSBケーブルを使用して、パソコンから充電することもできます。(但し、パソコンに接続するときは、必ず本機の電源をオフにした状態で接続してください。オンの状態で接続した場合、読み込み画面が表示することがありますので、その場合は全てキャンセルか完了を押してください。)
- シガーライターソケットへ接続した場合、車種によりインジケーターが点灯しない場合があります。この場合は、メインメニューの「設定」から「電池残量」―「バッテリー状態を確認する」(P79)を表示し、インジケーターが左から右側へ移動していることを確認してください。移動していれば、本機に電源が供給されている状態ですので、問題なくご使用になれます。
  もし、インジケーターが移動しない場合は、本機に電源が供給されていない状態です。シガー電源アダプターの差し込みおよび本機のUSB接続端子への接続がきちんとされているか確認してください。

各部の名称


① 音量ボタン
② ワンセグ TV 用
アンテナ
（内蔵ロッドアンテナ）
④ NAVI ボタン
⑤ TV ボタン
⑥ 電源スイッチ
③ タッチスクリーン
⑦ SD カード
スロット
⑧ 充電
インジケーター


⑨ 内蔵スピーカー
使用しません
⑬ スタイラスペン
使用しません
⑫ リセットスイッチ
⑩ イヤホン接続端子
⑪ USB 接続端子

各部の動作

① 音量ボタン
＋ボタンを押すと音量は大きくなります。－ボタンを押すと音量は小さくなります。
これらのボタンを押し続けると、連続して音量が変化します。

② ワンセグ TV 用アンテナ（内蔵式ロッドアンテナ）
ワンセグ TV 用のロッドアンテナです。ワンセグ TV を見るときは、引き出してお使いください。

③ タッチスクリーン
タッチスクリーン上の表示を指またはスタイラスペンを使って操作します。

注意

- ボールペンやシャープペンシルなどで、タッチスクリーンに触れると、タッチスクリーンを傷つけたり、正しく動作しないことがあります。

④ NAVI ボタン
このボタンを押して、ナビゲーションを起動します。

⑤ TV ボタン
このボタンを押すと、ワンセグ TV が起動します。
ナビゲーション中は、このボタンを押しても、ワンセグ TV モードにはなりません。

⑥ 電源スイッチ
- 電源が切れた状態で、このスイッチを約 3 秒以上長く押すと、電源が入ります。
- このスイッチを短く押すとスリープモードに入ります。再度このスイッチを押すと、スリープモードに入る直前の画面に戻ります。
- 本機の電源を切るには、このスイッチを約 3 秒以上長く押してください。

注意

- スリープモード中は、設定保持のためバッテリーを消費しておりますので、バッテリー残量が少なくなる場合があります。

⑦ SD カードスロット
ここに SD カードを挿入します。

⑧ 充電インジケーター
インジケーターの色により、本機の動作状態をお知らせします。
緑色：充電完了
赤色：充電中

⑨ 内蔵スピーカー
ここから音声がでます。

⑩ イヤホン接続端子
この端子に市販の 3.5 φステレオイヤホンを接続してください。この端子にイヤホンが接続されているときは、本機の内蔵スピーカーから音は出ません。
FM トランスミッター機能を使うときは、ここに付属の FM トランスミッター用アンテナを接続します。

注意

- イヤホンは本機が完全に立ち上がってから接続してください。

⑪ USB 接続端子

この端子と付属の USB ケーブルを接続し、USB ケーブルの他方をパソコン等に接続します。
車のシガーライターソケットを使って充電するには、付属のシガー電源アダプターの USB 端子を接続します。

注意

- 車種により、充電できない場合があります。

⑫ リセットスイッチ

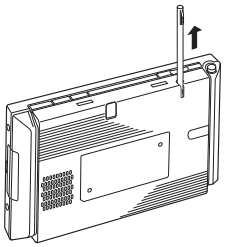
本機が正しく動作しなくなったときに押してください。

⑬ スタイラスペン

このペンを使って、タッチスクリーンを操作してください。

スタイラスペンを使うには

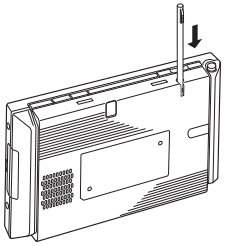
1 本機の背面よりスタイラスペンを抜き出す



2 スタイラスペンを使って、タッチスクリーンをタッチする

3 スタイラスペンの向きに注意して、スタイラスペンを本機背面に戻す

スタイラスペンの向きが違っていると、スタイラスペンは正しく本機に入りません。



注意

- 本機に付属のスタイラスペンの代わりにボールペンやシャープペンシルは使わないでください。
  本機のタッチスクリーンを傷付ける原因となります。

表示について

メインメニューについて

電源を入れると下記のメインメニュー画面が表示されます。
メニュー画面は３種類あり、それぞれのタグをタッチすることで切り替えることができます。

ナビゲーション

このメニューを使って、ナビゲーションに入っていきます。

エンタテインメント

このメニューを使って、ワンセグの視聴、音楽、映像、写真の再生をおこないます。

設定

このメニューを使って、画面の明るさや電池残量の確認、音量調整、タッチ画面補正、FM トランスミッターの設定、ソフトウエア情報の確認を行います。

画面表示について

「ナビゲーション」がインストールされている本体の画面サイズによっては、画面のデザインが一部異なる場合がありますが、操作は同じです。

ナビゲーションについて

本機の基本となるメニュー画面です。電源を入れると、このメニュー画面が表示されます。

ナビゲーションメニュー

ナビゲーションを使うには、ここをタッチします。

ナビゲーションメニュー

ナビゲーション中に［**メニュー**］をタッチして呼び出します。
ナビゲーションを使って、目的地の検索やナビゲーションの設定を変えることができます。

名称
名称から場所を探すときに、ここをタッチします。

電話番号
電話番号から場所を探すときに、ここをタッチします。

住所
住所から場所を探すときに、ここをタッチします。

周辺施設
現在地やスクロール先の周辺施設を 100 件まで探すことが出来ます。

現在地
ナビゲーションメニューを終了して、現在地画面に戻るときに、ここをタッチします。

ジャンル
食べるものや買うものなどのジャンルで探すときに、ここをタッチします。

ルート確認
ルートが設定されているときに表示されます。
誘導の開始や再設定、ルートの削除などを行うときに、ここをタッチします。

マップコード
マップコードから場所を探すときに、ここをタッチします。

地図にもどる
このナビゲーションメニューが表示される前に表示していた地図やナビゲーション画面に戻るときにタッチします。

検索履歴
過去に検索した行き先(目的地)から探すときに、ここをタッチします。

ナビ設定
用途やお好みに応じてナビゲーションの設定を変更するときに、ここをタッチします。

登録地
既に登録してある地点を探すときに、ここをタッチします。

エンタテインメントメニューについて

ワンセグ
ワンセグ TV を見るときには、ここをタッチします。ワンセグ TV の受信可能なチャンネルリストが表示されます。

映像
映像データを再生するには、ここをタッチします。動画再生を行う、映像リストが表示されます。

音楽
音楽データを再生するには、ここをタッチします。音楽再生を行う、音楽リストが表示されます。

写真
画像データを再生するには、ここをタッチします。写真再生を行う、画像リストが表示されます。

設定メニューについて

電池残量
本機内蔵バッテリーの残量を確認するには、ここをタッチします。現在のバッテリー残量が画面に表示されます。

明るさ
画面の明るさを変更するには、ここをタッチします。明るさの変更を行う画面が表示されます。

音量
音量を変更するには、ここをタッチします。音量の変更を行う画面が表示されます。

タッチ画面補正
実際にタッチした箇所と違う箇所が動作するようなときに、画面の調整をする為にここをタッチします。タッチ画面補正を行う画面が表示されます。

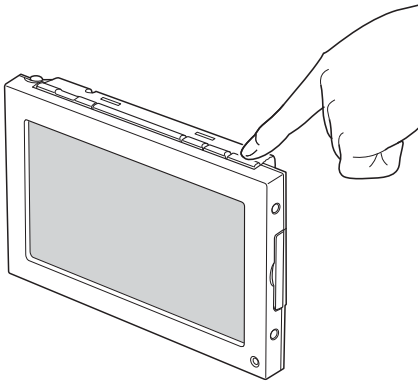
FM トランスミッター
車などの FM ラジオを使って、本機から出る音声と同じ音声を聞くことができます。

ソフトウエア情報
ソフトウエアのバージョンを確認するには、ここをタッチします。ソフトウエアに関する情報が表示されます。

基本の操作

電源の入れ方・切り方

1 電源を入れるには、電源スイッチを画面に表示が出るまで押す



▼

メインメニューが表示されます。

2 スリープモードにするには、電源スイッチを短く押す

画面が消え、スリープモードになります。

3 スリープモードを解除するには電源スイッチを短く押す

スリープモードに入る直前の画面に戻ります。

4 電源を切るには、⏻の表示がでるまで電源スイッチを押す

注意

- スリープモード中は、設定保持のためバッテリーを消費しておりますので、バッテリー残量が少なくなる場合があります。長時間ご使用にならない場合は、電源スイッチを長く押して、完全に電源を切ってください。

メモ

- カバンの中に入れているときなどに、何かで電源スイッチが押されて電源が入らないように注意してください。

注意

- メインメニューが表示される前に、大きめな音で起動音がでます。
  したがって、イヤホンなどをご使用になられるのは、表示がメインメニューに切り替わってから行ってください。

タッチスクリーンの操作方法

1 タッチスクリーンに表示されているアイコンや表示を軽くタッチする

注意

- タッチスクリーンは指またはスタイラスペンを使って操作してください。
- 他の機器のスタイラスペンやボールペン・シャープペンシルのペン先等でタッチスクリーンに触れないでください。

音量の調節

ここで設定した音量がナビゲーションでの音量となります。

本体の音量ボタンを使っての調整

1 電源を入れる

2 音量を大きくするには、＋ボタンを押す

＋ボタンを押し続けると、音量は連続して大きくなります。

3 音量を小さくするには、－ボタンを押す

－ボタンを押し続けると、音量は連続して小さくなります。

設定メニューを使っての調整

設定メニューを使っても、音量は変更することができます。

1 電源を入れて、メインメニューの表示にする

2「設定」をタッチする

設定メニューが表示されます。

3「音量設定」をタッチする

音量設定バーが表示されます。

4 音量設定バーの横にある◀または▶をタッチして、設定したい音量にする

5「OK」をタッチする

設定メニューに戻ります。

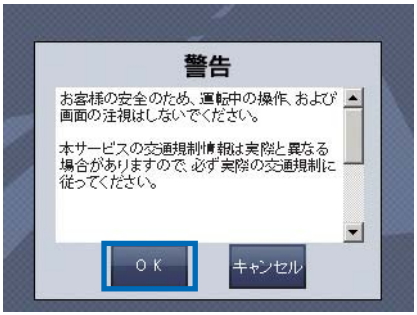
注意

- 運転中または歩行中の音量は、周囲の音が聞こえる程度の音量にしてください。
- FM トランスミッターを ON にすると音量は固定され、変更できません。

ナビゲーションの起動

メインメニューから［**ナビゲーション**］をタッチすると、起動画面表示後に警告画面が表示されます。
［**OK**］をタッチすると地図画面が表示され、ナビゲーションが起動します。

▼



▼

メモ

- 警告画面で［**キャンセル**］をタッチすると、ナビゲーションの起動を中止して本体のメニューに戻ります。

ナビゲーションの終了

ナビゲーションの終了は、ナビゲーションメニュー（P12）から「ナビ設定画面」を表示してから画面右上の［**終了**］をタッチします。

▼

メインメニューに戻ります。

▼

メモ

- ［**ナビゲーション**］をタッチ→［**ナビ設定**］をタッチすると「ナビ設定画面」を表示できます。詳しくは、→（P51）「ナビ設定」を参照してください。

現在地画面

ナビゲーションが起動すると現在地の地図画面が表示されます。起動後の地図画面は 100m スケールで表示します。

GPS 信号測位表示
GPS 信号の取得状況を表示します。
未取得：GPS
2 次元測位：GPS
3 次元測位：GPS

自車マーク
車の位置と進行方向を表します。

方位表示
赤い三角が北の方向を示します。

スケール［+］［−］
地図のスケールを変更します。

スケール表示
地図のスケール（距離）を表示します。

現在地の地名表示
自車位置周辺の地名を表示します。
- 地名をタッチすると表示を切り替えることができます。タッチするごとに、緯度経度表示→現在時刻表示→道路名称表示→地名表示の順に切り替わります。

［メニュー］
［**メニュー**］をタッチすると、ナビゲーションメニュー画面に切り替わります。→(P12)「ナビゲーションメニュー」

メモ

- 変更したスケールは、ナビゲーションを終了して再起動すると、リセットされて 100m スケールで地図を表示します。
- 自車マークは、実際の現在地からずれる場合があります。
- GPS 信号の受信状態が悪く、自車位置を測位できないとき：
  - 前回、ナビゲーション起動中の画面で、本体の電源ボタンを押して電源を切った場合
    →再度電源を入れた時には最後に記憶した位置を表示します。
  - 前回、ナビゲーションを終了してから、本体の電源ボタンを押して電源を切った場合
    →再度電源を入れた時には前回終了時の地点を表示します。

地図スクロール画面

地図スクロール画面は、地図を動かすときに表示される地図画面です。

1 地図上の見たい地点をタッチする

タッチした地点を中心とした地図が表示されます。

センターマーク
地図上の中心点を示します。

方位表示
赤い三角が北の方向を示します。

［決定］
［**決定**］をタッチするとサブメニューが表示されます。→(P25)「地図画面で探す」

スケール［+］［−］
地図のスケールを変更します。

［現在地］
「現在地画面」に戻ります。

スケール表示
地図のスケール(距離)を表示します。

［メニュー］
［**メニュー**］をタッチすると、ナビゲーションメニュー画面に切り替わります。→(P12)「ナビゲーションメニュー」

センターマークの地名表示
センターマーク周辺の地名を表示します。

- 地名をタッチすると表示を切り替えることができます。タッチするごとに、緯度経度表示→現在時刻表示→道路名称表示→地名表示の順に切り替わります。

メモ

- 地図上をタッチし続けると、タッチした地点の方向に地図が連続してスクロールします。センターマークから離れた地点をタッチするほど、その距離に合わせて地図がスクロールします。

地図のスケールを変える

地図のスケールは 50m ～ 100km の範囲で変えることができます。
通常は 100m スケールで表示されます。

1 [+]・[−] をタッチする

タッチするたびに 50m、100m、200m、500m、1km、2km、5km、10km、20km、50km、100km で地図のスケールが変わります。

メモ

- [+] または [−] をタッチし続けると、地図のスケールが連続的に変わります。
- 「ルート誘導画面」、「地図スクロール画面」から［**現在地**］をタッチして「現在地画面」に切り替えると、切り替える前の画面のスケールで地図が表示されます。

地図画面の表示について

地図表示の向きについて

進行方向が常に上にくるように地図が回転するヘディングアップ（走行方向）と、常に北を上に表示するノースアップ（北上固定）の地図の表示を選ぶことができます。
ご購入時は、ヘディングアップに設定されています。地図表示の向きを変更するときは、→（P52）「地図表示の向きを変更する」を参照してください。

〈ヘディングアップ〉

〈ノースアップ〉

地図画面の配色について

地図画面の配色を昼／夜／屋外で選ぶことができます。夜は夜間走行時、屋外は明るい場所を走行時に適切な配色になっています。走行する場所、時間に合わせて画面の配色を設定してください。

ご購入時は、昼に設定されています。地図画面の配色を変更するときは、→(P52)「地図の配色を変更する」を参照してください。

〈昼〉

〈夜〉

〈屋外〉

ナビゲーションメニューを表示する

「現在地画面」「地図スクロール画面」「ルート誘導画面」で［**メニュー**］をタッチすると表示されます。

［**住所**］：住所で探す。→(P26)

［**電話番号**］：電話番号で探す。→(P28)

［**名称**］：名称で探す。→(P29)

［**MC**］：マップコードで探す。→(P30)

［**周辺施設**］：周辺施設を探す。→(P31)

［**ジャンル**］：ジャンルで探す。→(P32)

［**登録地**］：登録地から探す。→(P34)

［**検索履歴**］：検索履歴から探す。→(P35)

［**現在地**］：メニューを終了して、「現在地画面」を表示します。

［**ルート確認**］：設定したルート情報を確認します。→(P37、P38)

［**ナビ設定**］：用途やお好みに応じて設定を変更します。→(P51)

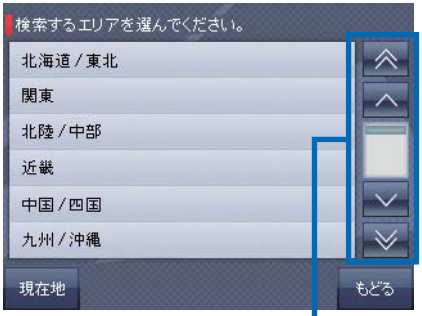
メモ

- ［**ルート確認**］は、ルートがあるときに表示されます。

各設定画面の基本操作

リスト表示の画面操作

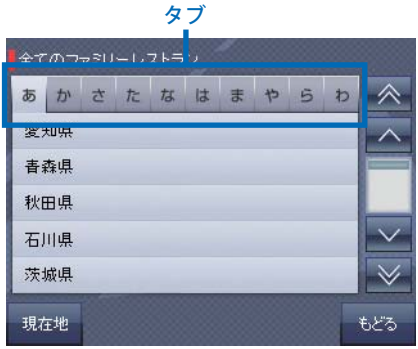
リストの項目を画面に表示しきれないときは、スクロールボタンが画面に表示されます。
スクロールボタンにタッチすると、リスト表示を上下にスクロールします。



［スクロール］ボタン

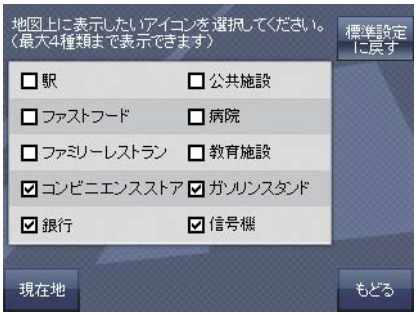
タブ表示の画面操作

都道府県、市区町村などのリストでは、タブが画面に表示されます。
タブをタッチすると、選んだタブのリストを表示します。



チェックボックス表示の画面操作

チェックボックスが表示される画面では、チェックボックス(□)をタッチして選択または解除の操作を行います。

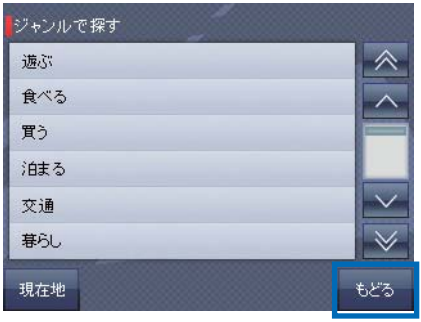


［現在地］

各画面で、**［現在地］**をタッチすると、入力または選択した内容をキャンセルして「現在地画面」を表示します。

［もどる］

各画面で、**［もどる］**をタッチすると、入力または選択した内容をキャンセルして、前の画面に戻ります。



地図記号一覧

地図関連

- 指示点
- 山岳
- 公園
- 工場
- 発電所
- トンネル
- マンション
- サービスエリア
- パーキングエリア
- インターチェンジ
- 料金所
- 駐車場・道の駅
- ガソリンスタンド
- 銀行
- ファミリーレストラン
- ファストフード
- コンビニエンスストア
- カーディーラー
- 空港
- ヘリポート
- フェリー乗り場
- タワー・展望台
- 灯台
- 墓地
- 公共館など
- 警察署
- 消防署
- 官公庁・裁判所・大使館など
- 都道府県庁
- 市町村役場
- 自衛隊
- 米軍
- 病院
- 郵便局
- NTT
- 学校
- 小学校
- 中学校
- 大学
- 幼稚園
- 保育園
- 自動車教習所
- 温泉
- 銭湯
- 遊園地・レジャーランド
- キャンプ場
- ゴルフ場
- 野球場
- スタジアム
- 体育館
- スキー場
- スケート場
- 海水浴場・プール
- ヨットハーバー
- サーフィングエリア
- モータースポーツ
- 美術館・博物館・図書館など
- 動物園
- 植物園
- 水族館
- プラネタリウム
- ホール・劇場
- フォトポイント
- 神社
- 仏閣
- 教会
- 城・城跡
- 天然記念物など
- 陵墓・古墳
- 牧場
- 果樹園
- 倉庫
- 競馬場
- デパート
- スーパーマーケット
- 市場
- ショッピングセンター
- DIY
- リゾートホテル

ルート関連

- 目的地
- 経由地
- 出発地
- 誘導ポイント
- 信号機
- 案内中ルート（有料道）
- 案内中ルート（一般道）

※記号やマークは、スケールによって表示されない場合があります。
※実際の色と異なる場合があります。

地図画面で探す

地図画面をタッチして、地図上で場所を探します。

1 地図画面で地図上をタッチする

2 地図をスクロールさせ、探したい場所をタッチして画面の中心に合わせる

3 [決定]をタッチする

4 操作する項目をタッチする

[**ここへ行く**]：探した地点を目的地に設定します。→(P37)「ルートを探索する」

[**地点登録**]：探した地点を登録します。→(P48)「地点を登録する(登録地)」

[**現在地設定**]：探した地点を現在地に修正します。→(P50)「現在地を修正する」

住所で探す

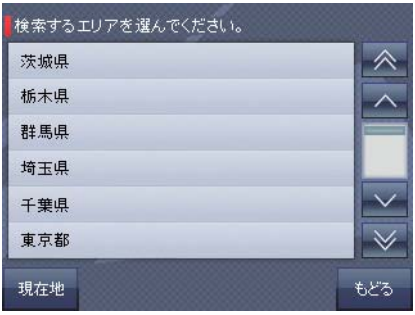
住所で場所を探します。番地まで入力して探すことができます。

1 [メニュー]をタッチする

2 [住所]をタッチする

3 検索するエリアをタッチする

4 検索する都道府県をタッチする



5 検索する市区町村の頭の文字をタッチする

6 検索する市区町村をタッチする

メモ

- 住所に小字(こあざ)があるときは、「市区町村」を選んだ後に小字の選択画面が表示されます。

7 目的の丁目をタッチする

8 目的の番地をタッチする

▼

入力した住所を中心に「地点確認画面」が表示されます。

9 操作する項目をタッチする

[ここへ行く]：探した地点を目的地に設定します。→(P37)「ルートを探索する」

[地点登録]：探した地点を登録します。→(P48)「地点を登録する(登録地)」

[地図を見る]：探した場所の地図を表示します。→(P36)「探した場所の地図を見る」

メモ

- 入力が終了したタブをタッチすると、入力した内容をキャンセルしてタッチしたタブの入力画面に戻ります。
- 各画面で**[ここを表示]**をタッチすると、その画面までに選んだ住所の代表地点を表示します。

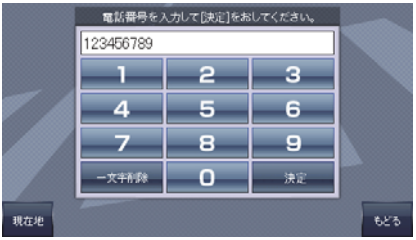
電話番号で探す

探す場所の電話番号を入力して探すことができます。

1 [メニュー] をタッチする

2 [電話番号] をタッチする

3 「数字」をタッチして電話番号を入力し、[決定] をタッチする



[**一文字削除**]：入力した数字を一文字削除します。

▼

入力した電話番号の検索結果がリストで表示されます。

4 リストから場所をタッチする

▼

選んだリストの行き先を中心に地点確認画面が表示されます。

5 操作する項目をタッチする

[**ここへ行く**]：探した地点を目的地に設定します。→(P37)「ルートを探索する」

[**地点登録**]：探した地点を登録します。→(P48)「地点を登録する(登録地)」

[**地図を見る**]：探した場所の地図を表示します。→(P36)「探した場所の地図を見る」

メモ

- 電話番号検索は法人電話帳から検索されます。
- 市外局番と市内局番は必ず入力してください。
- 11 桁まで入力できます。

名称で探す

宿泊施設やレジャー施設など、各種施設の名称で探すことができます。

1 [メニュー] をタッチする

2 [名称] をタッチする

3 ソフトウェアキーボードで名称を入力する

文字の下に点線が出ている場合は、文字はまだ決定されていません。文字を決定するには ↵(決定)をタッチして文字を決定してください。
ひらがな以外のキーボードが表示されている場合は、キーボードの JP キーを押してひらがなキーボードにしてください。

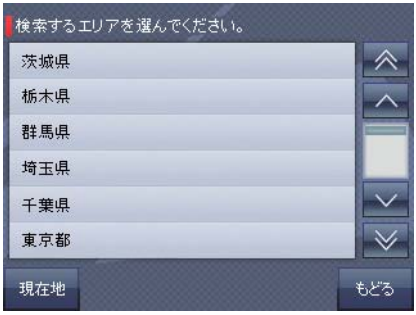
4 名称の入力を終了してから [検索] をタッチする

メモ

- 文字入力を終了するには、ソフトウェアキーボード、入力ボックス以外の空いている場所をタッチします。ソフトウェアキーボードが消えます。更に表示された [もどる] をタッチするとナビゲーションメニューに戻ります。

5 「エリア」をタッチする

6 「都道府県」をタッチする



▼

入力した名称の検索結果がリストで表示されます。

7 リストから行き先をタッチする

▼

選んだリストの行き先を中心に「地点確認画面」が表示されます。

8 操作する項目をタッチする

[ここへ行く]：探した地点を目的地に設定します。→(P37)「ルートを探索する」

[地点登録]：探した地点を登録します。→(P48)「地点を登録する(登録地)」

[地図を見る]：探した場所の地図を表示します。→(P36)「探した場所の地図を見る」

メモ

- 検索対象の文字数は 2 文字から 20 文字までです。入力文字数が 2 文字未満、21 文字を超えて入力された場合はエラーメッセージが表示されます。
- ひらがな以外の入力はできません。カタカナ、漢字、ローマ字、数字などを含む施設を探すときも、すべてひらがなで入力します。
- 名称はわかっている部分だけ入力して、検索することができます。

マップコードで探す

マップコードを入力して、目的の場所を探すことができます。マップコードを使うと、既にマップコードとして登録されている場所を簡単に探し出すことができます。

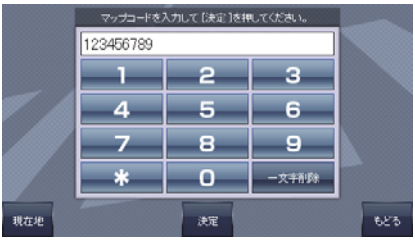
1 [ナビゲーション] をタッチする

2 [MC] をタッチする

▼

マップコードの入力画面が表示されます。

3 マップコードを入力する



入力できるマップコードは「*」を含めて 13 桁までです。

4 「決定」をタッチする

▼

入力したマップコードの場所を中心に地点確認画面が表示されます。
入力したマップコードに該当する場所が無い場合は、「該当するデータがありませんでした。」と表示されます。

5 操作する項目をタッチする

[ここへ行く]：探した地点を目的地に設定します。→(P37)「ルートを探索する」
[地点登録]：探した地点を登録します。→(P48)「地点を登録する(登録地)」
[地図を見る]：探した場所の地図を表示します。→(P36)「探した場所の地図を見る」

周辺の施設を探す

レストランやガソリンスタンドなど、現在地やスクロール先の周辺(半径 10km)施設を 100 件まで探すことができます。

1 [メニュー] をタッチする

2 [周辺施設] をタッチする

3 検索するジャンルをタッチする

▼

選んだジャンルの検索結果がリスト表示されます。

4 リストから周辺施設をタッチする

▼

選んだリストの行き先を中心に「地点確認画面」が表示されます。

5 操作する項目をタッチする

[ここへ行く]：探した地点を目的地に設定します。→(P37)「ルートを探索する」

[地点登録]：探した地点を登録します。→(P48)「地点を登録する(登録地)」

[地図を見る]：探した場所の地図を表示します。→(P36)「探した場所の地図を見る」

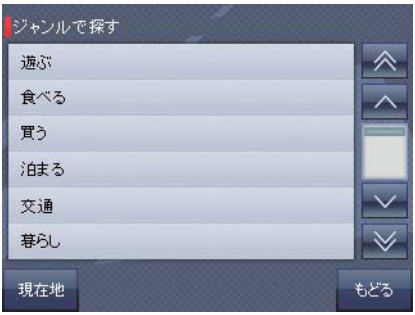
ジャンルで探す

ジャンルリストから各種施設を探すことができます。

1 [メニュー]をタッチする

2 [ジャンル]をタッチする

3 探している施設のジャンルをタッチする



メモ

- 探すジャンルによっては、さらに詳細を絞り込むための画面が表示されます。表示される画面で探すジャンルをタッチしてください。
- 絞り込む必要がないジャンルは、「都道府県」を選ぶ画面に切り替わります。

4 検索する都道府県をタッチする

5 検索する市区町村をタッチする

▼

選んだジャンルの検索結果がリスト表示されます。

6 目的の施設をタッチする

▼

選んだリストの行き先を中心に地点確認画面が表示されます。

7 操作する項目をタッチする

[ここへ行く]：探した地点を目的地に設定します。→(P37)「ルートを探索する」

[地点登録]：探した地点を登録します。→(P48)「地点を登録する(登録地)」

[地図を見る]：探した場所の地図を表示します。→(P36)「探した場所の地図を見る」

登録した場所(登録地)から探す

すでに登録されている場所(登録地)から探すことができます。

メモ

- 登録されている地点が無い場合は、次の画面が表示されます。登録地については、→(P48)「地点を登録する」を参照してください。

1 [メニュー]をタッチする

2 [登録地]をタッチする

3 探している「登録地」をタッチし、[決定]をタッチする

▼

選んだリストの行き先を中心に地点確認画面が表示されます。

4 操作する項目をタッチする

[ここへ行く]：探した地点を目的地に設定します。→(P36)「ルートを探索する」

[地点登録]：探した地点を登録します。→(P48)「地点を登録する(登録地)」

[地図を見る]：探した場所の地図を表示します。→(P36)「探した場所の地図を見る」

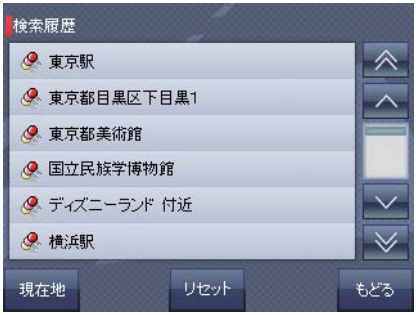
検索履歴から探す

過去に検索した行き先(目的地)から探すことができます。

1 [メニュー]をタッチする

2 [検索履歴]をタッチする

3 履歴の地点をタッチする



▼

選んだリストの行き先を中心に地点確認画面が表示されます。

[リセット]:検索履歴をすべて消去します。→(P36)「検索履歴を消去する」

4 操作する項目をタッチする

[ここへ行く]:探した地点を目的地に設定します。→(P37)「ルートを探索する」

[地点登録]:探した地点を登録します。→(P48)「地点を登録する(登録地)」

[地図を見る]:探した場所の地図を表示します。→(P36)「探した場所の地図を見る」

メモ

- 「ルート設定画面」まで表示させた最新の検索履歴50件までが表示されます。50件を超えた場合、最も古い検索履歴から自動的に消去されます。
- 「検索履歴」で探した地点で、「ルート設定画面」までの操作を行うと、この地点が最新の履歴として追加されます。

検索履歴を消去する

過去に検索した行き先(目的地)をすべて消去します。

1 「検索履歴画面」で［**リセット**］をタッチする

▼

検索履歴がすべて消去されます。

探した場所の地図を見る

1 場所を探す

住所で探す→ P26
電話番号で探す→ P28
名称で探す→ P29
マップコードで探す→ P30
周辺の施設を探す→ P31
ジャンルで探す→ P32
登録した場所から探す→ P34
検索履歴から探す→ P35

2 ［**地図を見る**］をタッチする

▼

地図が表示されます

ルートを探索する

探した場所を行き先(目的地)として設定すると、現在地から目的地までのルートが探索され、「ルート確認画面」が表示されます。

1 行き先を探す

地図画面で探す→ P25
住所で探す→ P26
電話番号で探す→ P28
名称で探す→ P29
マップコードで探す→ P30
周辺の施設を探す→ P31
ジャンルで探す→ P32
登録した場所から探す→ P34
検索履歴から探す→ P35

2 [ここへ行く]をタッチする

3 [OK]をタッチする

▼

「探索中画面」が表示されます。

▼

行き先までのルートを探索し、「ルート確認画面」が表示されます。
[キャンセル]:ルート探索をキャンセルします。

メモ

- 目的地周辺に有料道路がある場合は、「確認ダイアログ」が表示されます。**[有料道路]**または**[一般道路]**のどちらかを選びルートを設定します。

4 ルートを確認する

[誘導開始]:ルート誘導を開始します。→(P40)「ルート誘導を開始する」
[誘導設定]:ルート探索条件を変更して、ルートの探索を行います。→(P45)「条件を変えてルートを探索させる」
[ルート削除]:探索したルートを削除します。→(P46)「ルートを削除する」

ルート情報

[料金]：行き先(目的地)までに利用する有料道路の料金を表示します。
[距離]：行き先(目的地)までの距離を表示します。
[時間]：行き先(目的地)到着までのおよその時間を表示します。

メモ

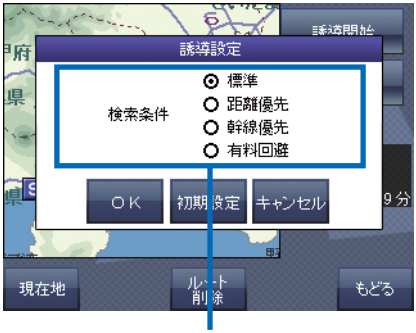
- ルート全域が入るスケールでノースアップ表示しますが、入るスケールが無い場合にはスタート地点を中心とした最大スケールで地図を表示し、地図の拡大・縮小は行えません。
- 「時間」は、一般道路 30km、有料道路 80km の平均車速で表示します。

探索条件を変更して再探索する

ルートの探索条件を変更して、ルートを再探索します。

1 「ルート確認画面」で[誘導設定]をタッチする

2 目的の検索条件をタッチする



検索条件

[初期設定]：探索条件を初期設定(標準)に戻します。
[キャンセル]：誘導設定を中止し、「ルート確認画面」に戻ります。

探索条件

[標準]：標準的な探索条件でルートを探索します。
[距離優先]：距離を優先してルートを探索します。
[幹線優先]：主要道路の通行を優先してルートを探索します。
[有料回避]：有料道路を使用しない条件でルートを探索します。

▼

行き先までのルートを探索し、「ルート確認画面」が表示されます。

ルートを削除する

探索したルートを削除します。

1 「ルート確認画面」で［**ルート削除**］をタッチする

2 ［OK］をタッチする

▼

ルートが削除されます。

［**キャンセル**］：ルート削除を中止し、「ルート確認画面」に戻ります。

メモ

- ルートは、目的地に近づくと削除されます。

ルートを変更する

ルート探索後に行き先を変更してルートを設定しなおすことができます。

1 変更する行き先を探す

地図画面で探す→ P25
住所で探す→ P26
電話番号で探す→ P28
名称で探す→ P29
マップコードで探す→ P30
周辺の施設を探す→ P31
ジャンルで探す→ P32
登録した場所から探す→ P34
検索履歴から探す→ P35

2 ［ここへ行く］をタッチする

▼

「経由地設定ダイアログ」が表示されます。

3 「**目的地をこの地点に変更する**」をタッチし、［OK］をタッチする

▼

目的地を設定して「ルート確認画面」が表示されます。

メモ

- 目的地周辺に有料道路がある場合は、「確認ダイアログ」が表示されます。［**有料道路**］または［**一般道路**］のどちらかを選びルートを設定します。
- 「**経由地に追加する**」をタッチし、［OK］をタッチすると経由地に設定します。

ルート誘導を開始する

ルートが決まったら、ルート誘導を開始します。

1 ［誘導開始］をタッチする

2 走行を開始する

▼

走行を開始すると状況に応じて画面と音声でルート誘導を行います。目的地に近づくとルート誘導を中止し、ルートが削除されます。

メモ

- ルート誘導を中止するときは、ルートを削除します。→(P46)「ルートを削除する」

ルート誘導中の案内について

ルート誘導を開始すると、「ルート誘導画面」が表示され、画面と音声で目的地まで設定したルートで誘導が行われます。

方面看板／レーン情報
案内中のルートの参考情報として方面看板と進行方向を案内するレーン情報を表示します。

交差点名称
最も近い誘導地点の交差点名称を表示します。

ラリービュー
誘導地点を矢印で表示します。最も近い誘導地点までの距離が表示されます。

目的地までの距離、到着予想時刻

走行軌跡表示

現在地の地名表示
現在の自車位置周辺の地名を表示します。

目的地方向表示
自車位置と目的地を結んだ線で、目的地の方向を表示します。

スケール［+］［−］
地図のスケールを変更します。

［メニュー］
［メニュー］をタッチすると、ナビゲーションメニュー画面に切り替わります。→(P12)「ナビゲーションメニュー」

GPS 信号測位状況表示
GPS 信号の測位状況を表示します。
未取得：
2 次元測位：
3 次元測位：

メモ

- 誘導を開始すると、誘導中の地図を 100 mスケールで表示します。スケールを変更すると、変更したスケールで地図を表示します。
- 誘導中に高速道路・有料道路を走行すると、「ハイウェイモード」に切り替わり、誘導中の地図を 500 mスケールで表示します。→(P43)「ハイウェイモード」
- 交差点名称、方面看板、レーン情報はデータが存在しない場合は表示されません。
- 方面看板、レーン情報は実際の標識と異なる場合があります。
- 誘導中のルートは、一般道路は黄緑色、有料道路は水色で表示されます。
- 走行軌跡表示を表示しない設定にすることもできます。→(P51)「ナビ設定」を参照してください。
- ルート誘導中に地図上をタッチすると、「地図スクロール画面」が表示されます。音声の誘導は継続して行われます。[**現在地**] をタッチすると「ルート誘導画面」に戻ります。
- 目的地に近づくと、「案内を終了します」の音声案内がながれて誘導を終了し、通常の地図表示画面に切り替わります。

ラリービュー画面

誘導地点までの距離に応じて、誘導矢印で方向を表示します。また、最も近い誘導地点までの距離がカウントダウンで表示されます。

メモ

- 「ラリービュー画面」では誘導矢印が最大 4 つ先まで表示されます。
- 誘導矢印が 700 mライン以下にある場合は、最も自車位置に近い誘導矢印が赤色で表示されます。
- 700m 以内に複数の誘導地点が存在する場合は、700m ラインより下方向に複数の誘導矢印が表示されます。
- 701m 以上、1km 以内に誘導地点がある場合は、1km ラインに誘導矢印が表示されます。

誘導地点 300m 手前に近づくと

交差点が拡大表示されます。

メモ

- 方面看板、レーン情報はデータが存在しない場合は表示されません。

ハイウェイモード

ルート誘導時に高速道路・有料道路の入口へ入ると、自動的に「ハイウェイモード画面」に切り替わります。

目的地までの距離、到着予想時刻

誘導地点表示

ルート上の次の誘導地点までの距離と情報を最大 3 つまで表示します。

施設情報表示

施設の情報を次の優先度で表示します。

1： ガソリンスタンド
2： 身障者用トイレ
3： レストラン
4： 土産物店
5： 休憩所
6： 仮眠休憩所
7： インフォメーション
8： シャワールーム
9： コインランドリー
10： 風呂（温泉浴場）
11： FAX サービス
12： 郵便ポスト
13： キャッシュコーナー

誘導地点 2km 手前に近づくと

音声で案内されます。
例：「およそ 2km 先、○○方向です。」

誘導地点 1km 手前に近づくと

音声で案内されます。
分岐情報とレーン情報が表示されます。

メモ

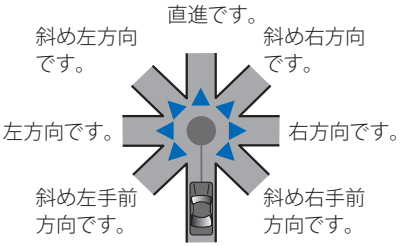
- 「ハイウェイモード」では、スケールを変更することはできません。
- レーン情報はデータが存在しない場合は表示されません。
- 有料道路の出口へ到達すると、自動的に通常の誘導画面へ切り替わって、引続き目的地までの誘導を行います。
- **［地図表示］**をタッチすると「現在地画面」に切り替わります。「現在地画面」から誘導を再開するには **［現在地］** をタッチしてください。
  ※誘導を再開したとき、GPS で測位した現在位置を考慮して誘導が再開されます。
  ※誘導再開時の自車位置がルートから離れている場合はリルートを行います。

音声による誘導

ルート走行中は、走行中の状況に合わせて音声で誘導が行われます。

走行方向の誘導例

走行方向(7 方向)は、音声で以下のように誘導されます。

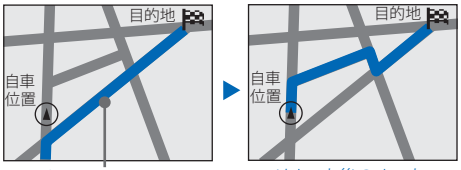


メモ

- 誘導される右左折の方向は、実際の道路の形状とは合わない場合があります。

オートリルートについて

誘導中のルートからはずれた場合、自動的にルートを再探索します。リルートが終了すると「リルートしました」とメッセージと音声で案内されます。



設定されているルート　リルート後のルート

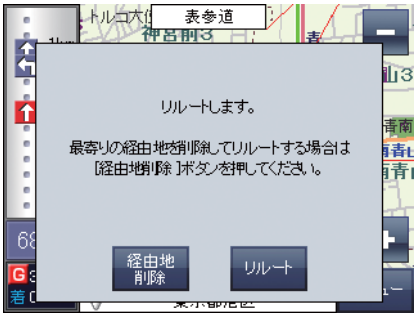
メモ

- リルートの条件は変更できます。
  →(P51)「ナビ設定」を参照してください。

経由地が設定されている場合

リルートするときに経由地が設定されている場合、最寄りの経由地を削除してリルートを行うかどうかの「確認ダイアログ」が表示されます。

1 リルートする項目をタッチする



[経由地削除]：最寄りの経由地を削除してリルートします。
[リルート]：最寄りの経由地を経由してリルートします。

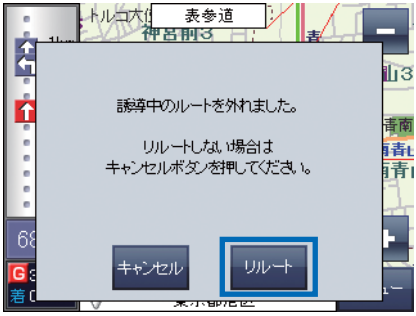
メモ

- 「確認ダイアログ」表示後、一定時間が経過すると「確認ダイアログ」を閉じて、リルートが行われます。

リルートを「手動」に設定している場合

リルートを開始するときに、リルートを行うかどうかの「確認ダイアログ」が表示されます。

1 ［リルート］をタッチする



▼

リルートが行われます。

［**キャンセル**］：リルートをキャンセルします。

メモ

- 「確認ダイアログ」表示後、一定時間を経過するとリルートされずに「確認ダイアログ」を閉じます。
- リルートをキャンセルすると、「ルート誘導画面」の表示はそのままで誘導情報の一部（ラリービュー、目的地までの距離、到着予測時刻、交差点名称の表示と音声案内）が解除され、画面左下に［**リルート**］が表示されます。［**リルート**］をタッチするとリルートが行われます。

条件を変えてルートを探索させる

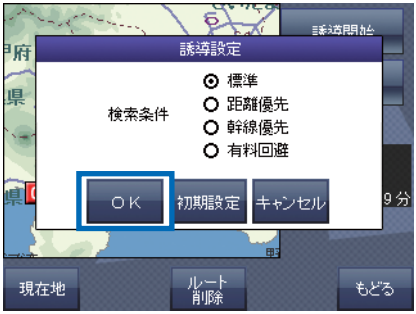
案内中のルートで探索条件を変えて再探索させることができます。

1 ［**メニュー**］をタッチする

2 ［**ルート確認**］をタッチする

3 ［**誘導設定**］をタッチする

4 「**検索条件**」をタッチし、［OK］をタッチする



［**標準**］：標準的な探索条件でルートを探索します。

［**距離優先**］：距離を優先してルートを探索します。

［**幹線優先**］：主要道路の通行を優先してルートを探索します。

［**有料回避**］：有料道路を使用しない条件でルートを探索します。

▼

選んだ探索条件でルートを再探索し、「ルート確認画面」が表示されます。

ルート誘導中に周辺施設を探す

ルート上にある自車位置周辺（半径 10km、100件まで）の施設を探すことができます。

1 ［メニュー］をタッチする

2 ［周辺検索］をタッチする

▼

以降の操作は→(P31)「周辺の施設を探す」を参照してください。

ルートを削除する

ルート誘導中のルートを削除することができます。

1 ［メニュー］をタッチする

2 ［ルート確認］をタッチする

3 ［ルート削除］をタッチする

4 ［OK］をタッチする

▼

ルートが削除されます。

経由地を設定する

ルート上に立ち寄る場所を追加して、経由地を経由するルートを案内させることができます。経由地の設定は、目的地までのルートが設定されているときに行うことができます。

1 経由地に設定する行き先を探す

地図画面で探す→ P25
住所で探す→ P26
電話番号で探す→ P28
名称で探す→ P29
マップコードで探す→ P30
周辺の施設を探す→ P31
ジャンルで探す→ P32
登録した場所から探す→ P34
検索履歴から探す→ P35

2 [ここへ行く] をタッチする

▼

「経由地設定ダイアログ」が表示されます。

3 「経由地に追加する」をタッチし、[OK] をタッチする

▼

経由地を設定して「ルート確認画面」が表示されます。

メモ

- 行き先に有料道路がある場合は、「確認ダイアログ」が表示されます。[**有料道路**] または [**一般道路**] のどちらかを選びルートを設定します。
- 「**目的地をこの地点に変更する**」をタッチし、[OK] をタッチすると目的地を変更します。

4 ルートを確認する

[**誘導開始**]：ルート誘導を開始します。→(P40)「ルート誘導を開始する」
[**誘導設定**]：ルート探索条件を変更して、ルートの探索を行います。→(P45)「条件を変えてルートを探索させる」
[**ルート削除**]：探索したルートを削除します。→(P46)「ルートを削除する」

メモ

- 経由地は最大 5 つまで登録できます。登録した順に経由地が追加されます。

経由地を削除／変更する

設定した経由地のみを削除または変更することはできません。
経由地を削除または変更する場合は、ルートを削除(→(P46)「ルートを削除する」)してから新たにルート探索します。

地点を登録する（登録地）

自宅や良く行く場所を（200 件まで）登録しておくと、ルート設定などの操作が簡単になります。登録する地点は、名称、コメント、アイコンの情報を登録することができます。

1 登録したい地点を探す

地図画面で探す→ P25
住所で探す→ P26
電話番号で探す→ P28
名称で探す→ P29
マップコードで探す→ P30
周辺の施設を探す→ P31
ジャンルで探す→ P32
登録した場所から探す→ P34
検索履歴から探す→ P35

2 ［地点登録］をタッチする

3 「名称」または「コメント」の入力ボックスをタッチする

▼

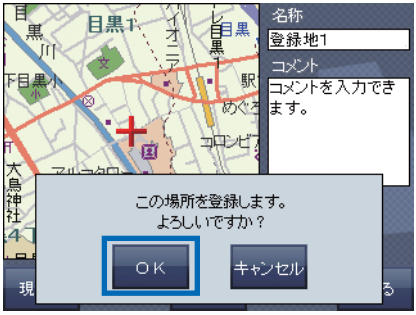
ソフトウェアキーボードが表示されます。

4 ソフトウェアキーボードで名称とコメントを入力する

5 「🔍」（アイコン表示）をタッチし、プルダウンメニューからアイコンを選ぶ

6 ［登録］をタッチする

7 [OK] をタッチする



▼

「登録地リスト画面」が表示されます。

[キャンセル]：地点の登録をキャンセルします。

8 登録地のリストを確認する

[編集]：タッチした登録地を編集します。→(P49)「登録地を編集する」

[削除]：タッチした登録地を削除します。→(P50)「登録地を削除する」

[決定]：タッチした登録地を行き先に設定します。→(P34)「登録した場所(登録地)から探す」

メモ

- 名称の入力文字数は 40 文字まで、コメントの入力文字数は 100 文字までです。
- 選択できるアイコンは 10 種類です。

登録地を編集する

登録地を編集することができます。

1 [メニュー] をタッチする

2 [登録地] をタッチする

▼

「登録地リスト画面」が表示されます。

3 編集する登録地をタッチし、[編集] をタッチする

▼

以降の操作は→(P48)「地点を登録する(登録地)」の **3** から **6** を参照してください。

登録地を削除する

不要になった登録地を削除することができます。

1 ［メニュー］をタッチする

2 ［登録地］をタッチする

▼

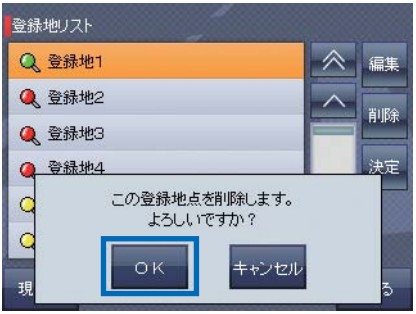
「登録地リスト画面」が表示されます。

3 削除する登録地をタッチし、［削除］をタッチする

▼

「確認ダイアログ」が表示されます。

4 ［OK］をタッチする



▼

登録地が削除されます。

現在地を修正する

旅行や出張などで場所を移動したときに、その場所を現在地に設定することができます。

1 現在地に修正する場所を探す

地図画面で探す→ P25
住所で探す→ P26
電話番号で探す→ P28
名称で探す→ P29
マップコードで探す→ P30
周辺の施設を探す→ P31
ジャンルで探す→ P32
登録した場所から探す→ P34
検索履歴から探す→ P35

2 ［現在地設定］をタッチする

3 ［OK］をタッチする

▼

「現在地画面」が表示されます。

メモ

- GPS 信号を取得すると、現在地がその地点に移動します。

用途やお好みに応じて設定を変更することにより、ナビゲーションを使いやすくすることができます。

メモ

- ナビ設定では、項目を選んだ時点でその項目の内容で設定されます。
- [現在地]をタッチすると、それまでに設定された内容で「現在地画面」に戻ります。
- [もどる]をタッチすると、前の画面に戻ります。

ルート探索条件の設定を変更する

1 [メニュー]をタッチする

2 [ナビ設定]をタッチする

3 「検索条件」のボックスをタッチし、プルダウンメニューから設定する項目を選ぶ

[標準]：標準的な探索条件でルートが探索されます。(※ご購入時の設定です。)
[距離優先]：距離を優先してルートが探索されます。
[幹線優先]：主要道路を優先してルートが探索されます。
[有料回避]：有料道路を回避したルートが探索されます。

4 [現在地]をタッチする

▼

設定を終了します。

リルートの設定を変更する

1 [メニュー]をタッチする

2 [ナビ設定]をタッチする

3 「リルート」のボックスをタッチし、プルダウンメニューから設定する項目を選ぶ

[オート]：誘導中のルートからはずれた場合、ナビゲーションがルートからはずれたと判断すると自動的にリルートを行い、目的地までのルートを探索し直します。
[手動]：リルートの開始を手動で行います。

4 [現在地]をタッチする

▼

設定を終了します。

メモ

- リルート設定で「手動」にした場合、誘導中にルートを外れると「ルートからはずれました」の案内と同時にリルートを行うかどうかの「確認ダイアログ」が表示されます。[リルート]をタッチすると、リルートが行われます。

地図の配色を変更する

1 ［メニュー］をタッチする

2 ［ナビ設定］をタッチする

3 「配色」のボックスをタッチし、プルダウンメニューから設定する項目を選ぶ

［**昼**］：昼の走行に適した配色で表示します。（※ご購入時の設定です。）
［**夜**］：夜の走行に適した配色で表示します。
［**屋外**］：明るい屋外の走行に適した配色で表示します。

4 ［**現在地**］をタッチする

▼

設定を終了します。

メモ

- 配色を変更しても、画面が暗すぎたり、まぶしすぎたりする場合は、［**メインメニュー**］に戻り、［**設定**］の［**明るさ**］を使って明るさを調整してください。→(P79)

地図表示の向きを変更する

1 ［メニュー］をタッチする

2 ［ナビ設定］をタッチする

3 「地図方向」のボックスをタッチし、プルダウンメニューから設定する項目を選ぶ

［**走行方向（ヘディングアップ）**］：進行方向が常に上になるよう、地図が自動回転します。（※ご購入時の設定です。）
［**北上固定（ノースアップ）**］：常に北が上になるように地図が表示されます。

4 ［**現在地**］をタッチする

▼

設定を終了します。

メモ

- 「走行方向（ヘディングアップ）」の設定で、ルート誘導中に地図をスクロールした場合はスクロール開始時の表示方向で固定したままスクロールします。［**現在地**］をタッチして「ルート誘導画面」に戻ると、ヘディングアップで表示します。

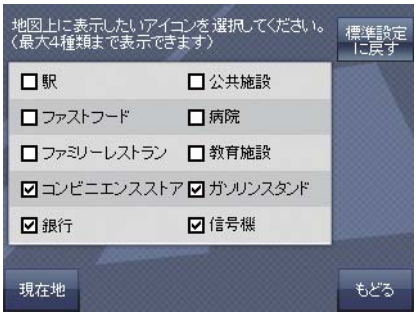
地図のアイコン表示を変更する

1 ［メニュー］をタッチする

2 ［ナビ設定］をタッチする

3 「アイコン」の［表示設定］をタッチする

4 地図上に表示したいアイコンのチェックボックスをタッチする



5 ［現在地］をタッチする

▼

設定を終了します。

メモ

- ご購入時、「ガソリンスタンド」と「信号機」が選択されています。
- 選択できるアイコンは４つまでです。アイコンを４つ選び、他のアイコンを選ぶ場合は、不要なアイコンのチェックをはずしてから選んでください。
- この設定画面で［**標準設定に戻す**］をタッチすると、アイコン表示のみがご購入時の状態に戻ります。

走行軌跡表示を変更する

1 ［メニュー］をタッチする

2 ［ナビ設定］をタッチする

3 ［▶］をタッチする

▼

「ナビ設定画面」の２ページ目が表示されます。

4 「表示設定」のボックスをタッチして、プルダウンメニューから設定する項目を選ぶ

［**表示する**］：走行軌跡を表示します。（※ご購入時の設定です。）
［**表示しない**］：走行軌跡を表示しません。

5 ［現在地］をタッチする

▼

設定を終了します。

走行軌跡を消去する

1 ［メニュー］をタッチする

2 ［ナビ設定］をタッチする

3 ［▶］をタッチする

▼

「ナビ設定画面」の 2 ページ目が表示されます。

4 ［リセット］をタッチする

5 ［現在地］をタッチする

▼

設定を終了します。

設定をご購入時の状態に戻す

1 ［メニュー］をタッチする

2 ［ナビ設定］をタッチする

3 ［標準設定に戻す］をタッチする

4 ［現在地］をタッチする

▼

設定を終了します。

メモ

- 「ナビ設定画面」で設定したすべての項目がご購入時の状態に戻ります。
- 「ナビ設定画面」の 2 ページ目の［**標準設定に戻す**］でも、設定したすべての項目がご購入時の状態に戻ります。

GPS の測位状態を確認する

1 ［メニュー］をタッチする

2 ［ナビ設定］をタッチする

3 ［▶］をタッチする

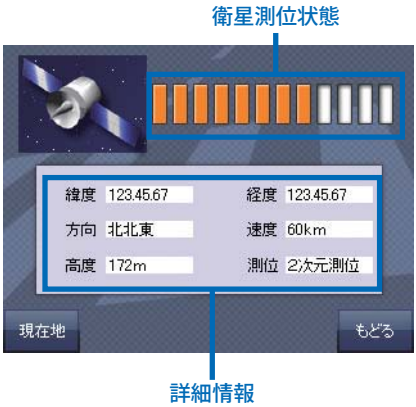
▼

「ナビ設定画面」の 2 ページ目が表示されます。

4 ［GPS］をタッチする

▼

「測位状態表示画面」が表示されます。



衛星測位状態

測位できた GPS の個数が表示されます。

詳細情報

測位データから緯度、経度、方向、速度、高度、測位が表示されます。

5 ［現在地］をタッチする

▼

「現在地画面」に戻ります。

デモ走行でルート誘導を確認する

1 ［メニュー］をタッチする

2 ［ナビ設定］をタッチする

3 ［▶］をタッチする

▼

「ナビ設定画面」の２ページ目が表示されます。

4 ［デモ走行］をタッチする

▼

「デモ走行画面」が表示され、デモ走行を開始します。

5 ［キャンセル］をタッチする

▼

デモ走行を中止します。
ハイウェイモードでデモ走行を行っている場合は、［**地図表示**］をタッチして、地図表示に戻ってから［**キャンセル**］をタッチしてください。

6 ［現在地］をタッチする

▼

設定を終了します。

メモ

- デモ走行で確認できるルート誘導は、あらかじめインストールされているルートのデータが使用されます。

ナビゲーションを終了する

1 ［メニュー］をタッチする

2 ［ナビ設定］をタッチする

3 ［×終了］をタッチする

▼

確認のダイアログが表示されます。

4 ［OK］をタッチする

ナビゲーションを終了、メインメニューに戻ります。

▼

［キャンセル］：ナビ設定に戻ります。

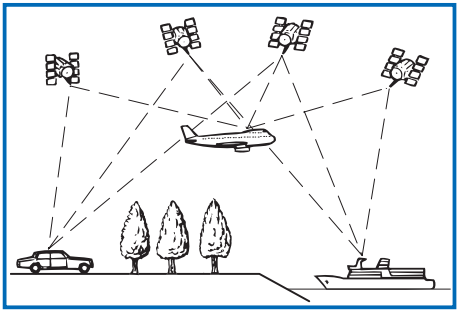
メモ

- 案内中にナビゲーションを終了した場合、そのデータは保存されます。次にナビゲーションを起動したとき、「ルート確認画面」で［誘導開始］をタッチするとルート誘導を行います。

ナビゲーションのしくみ

GPS による測位

GPS 衛星（人工衛星）から位置測定用の電波を受信して、現在地を測位するシステムが GPS（Global Positioning System：グローバルポジショニングシステム）です。
GPS 衛星は、地球の周り高度 21,000km に打ち上げられています。3 つ以上の GPS 衛星の電波を受信すると、測位が可能になります。
GPS による測位には、3 次元測位と 2 次元測位の 2 種類があります。

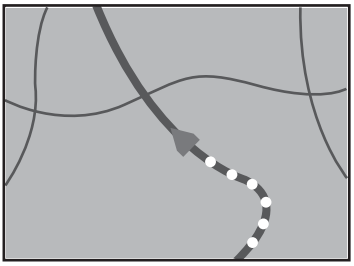


種類	内容
3 次元測位 GPS	GPS 衛星の電波を良い状態で受信できたときは、緯度・経度・高度の 3 次元で測位できる。
2 次元測位 GPS	GPS 衛星の電波を受信できても、受信状態があまり良くないときは、緯度・経度の 2 次元で測位する。高度は測位できないため、3 次元測位のときよりも測位の誤差がやや大きくなる。

マップマッチング

GPS による測位には誤差が生じることがあるため、現在地が道路以外になることがあります。このようなとき、「車は道路上を走るもの」と考え、現在地を近くの道路上に修正する機能がマップマッチングです。

マップマッチングしている場合



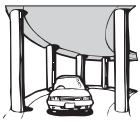
誤差について

次のような状況のときは、誤差が大きくなることがあります。

GPS 測位不可による誤差

- 次のような場所にいるときは、GPS 衛星の電波がさえぎられて受信できないため、GPS による測位ができないことがあります。

トンネルの中やビルの駐車場



2層構造の高速道路の下

高層ビルの群集地帯

密集した樹木の間

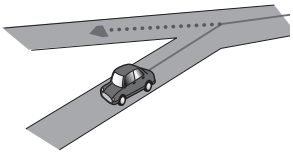
- 次のような場合は、電波障害の影響で、一時的に GPS 衛星の電波を受信できなくなることがあります。
  ※車載のテレビで 56 チャンネル(UHF)を受信している。
  ※GPS アンテナの近くで自動車電話や携帯電話を使っている。

GPS 衛星自体による誤差

- GPS 衛星は米国国防総省によって管理されており、衛星自体が意図的にずれた位置データを送信することがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。
- 捕捉(受信)できる衛星の数が少ないときは、2 次元測位となり、誤差が大きくなります。

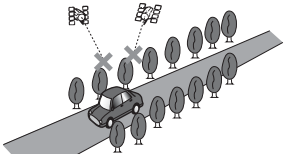
その他の誤差について

- 角度の小さな Y 字路を走った場合。

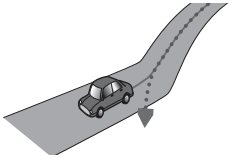


- 駐車場などで、ターンテーブルでの旋回を行った場合。

- GPS による測位ができない状態が長く続いた場合。

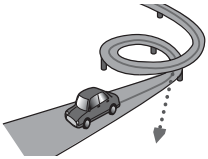


- 直線や緩やかなカーブを、長距離走ったすぐ後。

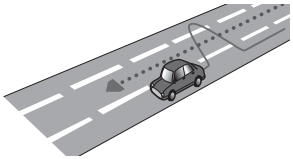


- ヘアピンカーブが続いた場合。

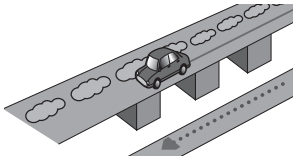
- ループ橋などを通った場合。



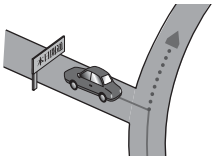
- 蛇行運転をした場合。



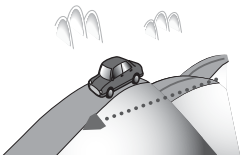
- 道路が近接している場合(有料道路と側道など)。



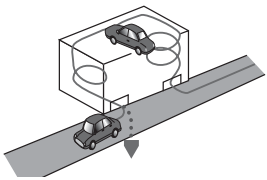
- 地図情報にはない新設道路を走った場合。



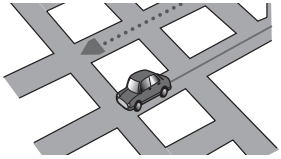
- 勾配の急な山道など、高低差のある道を走った場合。



- 立体駐車場などで旋回や切り返しを繰り返した場合。



- 碁盤の目状の道路を走った場合。



- 工場などの施設内の道路を走行中、施設に隣接する道路に近づいた場合。

収録されている地図情報について

場所を探すベースとなっているデータによっては、表示されるポイント（位置）が実際のポイントと離れている場合があります。

電話番号検索のデータについて

- 電話番号検索のデータとして、「日本ソフト販売（株）」の「Bellemax」より約 800 万件のデータが収録されています。

アイコン表示について

- アイコンが表示されるポイントは、実際の場所とは異なっている場合があります。

ルートに関する注意事項

ルート探索の仕様

- ルート探索をすると、自動的にルート／音声案内が設定されます。曜日、時刻規制については、交通規制情報はルート探索した時刻のものが反映されます。例えば、「午前中通行可」の道路でも時間の経過により、その現場を「正午」に走行すると、設定されたルートが通れないなど交通規制に反する場合があります。
  運転するときは必ず実際の交通標識に従ってください。
- 探索されたルートは道路種別や交通規制などを考慮して、本機が求めた目的地に至る道順の一例です。必ずしも最適になるとは限りません。
- 出発地、目的地、経由地が細街路（5.5m 以下）上、またはその近辺にある場合、最寄りの広い道路からルートが探索されます。
- 本州～北海道、本州～四国、本州～九州のルートも設定できます（本州～北海道などのフェリーが運行されている場合には、航路を使うルートが探索されます）。
- フェリー航路に関してはルート探索の補助手段であるため、長距離航路は対象となりません。
- フェリー航路については、すべてのフェリー航路が収録されているわけではありません。

ルート探索のしかた

- 現在の進行方向と逆向きのルートが設定されることがあります。
- 河川や駅の反対側を誘導するルートになることがあります。そのようなときは、目的地を使用したい道路の近くに設定してください。
- 有料道路回避などでは、他の適切なルートがない場合は回避されないことがあります。
- 場所によってはルート探索できないことがあります。そのようなときは、目的地および出発地付近の「大きな交差点」付近に経由地を設定してみてください。

ルートの道塗りについて

- 道路形状によっては、道塗りの下から道路がはみ出して見える場合があります。
- 出発地、目的地、経由地の前後では道塗りされない場合があります。このため、経由地付近でルートが途切れたように見えることがあります。

音声案内について

- 有料道路のインターチェンジ出口を目的地として設定すると、「高速出口施設」と「料金所」は音声案内されないことがあります。

ルート確認画面での有料道路料金について

- 特殊な料金体系の有料道路では、正しい料金が表示されない場合があります。
- 料金非対応路線を含むルートの場合は、その道路の料金は合計料金に含まれません。
- 料金計算ができないルートの場合は、「****」と表示されます。
- 一般有料道路に関しては、一部路線のみ対応しています。
- 有料道路上およびランプ上からルートを探索したときや、有料道路上に目的地や出発地を設定したときは、有料道路を使う区間を判断できないため、料金が正しく計算されません。
- 一部実際と異なる料金が表示されたり、誘導されたりすることがあります。このような場合は、実際の料金に従ってください。
- 有料料金は改定される場合がありますので、あくまで目安としてお使いください。

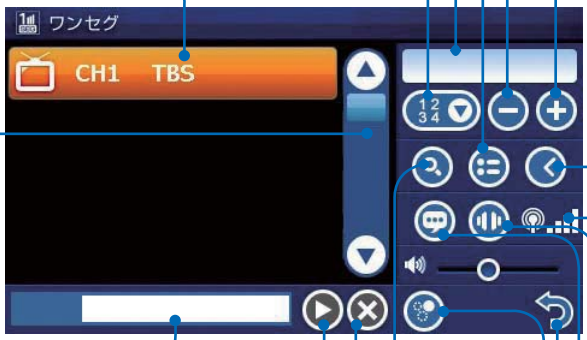
オートリルートについて

- リルートする場合、ルートをはずれた地点を出発地とするルート検索を行います。
- 目的地、経由地付近の時間規制がある場合は、規制を無視するルートを引く場合があります。

ワンセグ TV メニューについて

重要

- **自動車を運転中に本機でワンセグ TV を操作すること、または画面を注視することは非常に危険です。操作、視聴をする場合には自動車を安全なところに停車させてから行ってください。**



チャンネルリストボタン
このボタンにタッチすると、チャンネルリストを表示します。

チャンネル表示ボックス
選択されているチャンネル番号と局名を表示します。

キーボードボタン
このボタンをタッチするとキーボードが表示されます

チャンネルリスト
チャンネル設定されている放送局をリストで表示させます。

チャンネルリストバー
このバーをタッチして、リストに表示されていないチャンネルを表示させます。

情報表示ボックス
選択した番組の情報を表示します。検索を行っているときは、検索の進行状況を表示します。

▶ ボタン
このボタンは、チャンネルの選局中に表示されます。このボタンを押すと、選んだチャンネルのワンセグ TV を表示します。

ボタン
このボタンをタッチすると、表示されているチャンネル表示や番組表を消して、受信中ののワンセグ TV を表示します。

ボタン
このボタンをタッチすると、一つ前の画面に戻ります。

ボタン
このボタンをタッチすると、検索を開始します。

ボタン
このボタンをタッチすると、検索を中止します。

ボタン
このボタンをタッチすると、チャンネルを検索する方法をオートか地域設定か設定できます。

ーボタン
このボタンをタッチすると、小さいチャンネル番号に移っていきます。

＋ボタン
このボタンをタッチすると、大きいチャンネル番号に移っていきます。

番組表ボタン
このボタンをタッチすると、視聴中チャンネルの番組表などの情報が表示されます。

信号強度
受信しているワンセグ TV 用電波の強さを表します。

音声切り換えボタン
このボタンをタッチすると、二ヶ国語放送受信時に、音声を切り換えます。

ボタン
このボタンをタッチすると、字幕のオン・オフ設定をします。

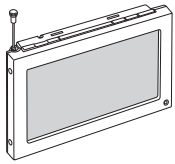
ワンセグ TV を初めて使う

ワンセグ TV を始めてお使いになるときは、受信できる局が設定されていません。初めてお使いになるときは、ワンセグ TV の受信できる局を設定してからお使いください。

1 ワンセグ TV 用アンテナを伸ばす

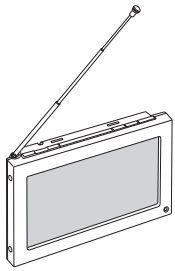
アンテナを引き出す時は、無理な力を加えないでください。アンテナが折れたり、曲がったりします。

▼



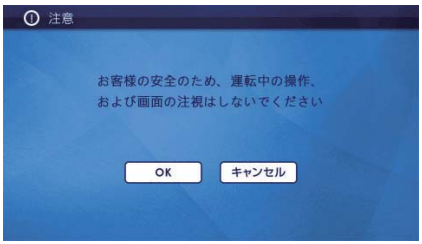
ワンセグ TV 用アンテナは最後まで確実に引き出してください。

2 TV ボタンを押す

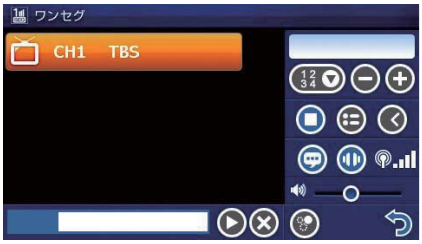


メインメニューからは、[**エンタテインメント**] をタッチし、ワンセグ をタッチします。

3 安全の確認を行う画面がでますので、問題がなければ [OK] をタッチする



4 受信できる放送局を検索するために、をタッチする



▼

受信できる局の検索が始まります。
検索が終わると、放送局名がリスト表示されます。
局検索中にをタッチすると、検索を中止します。

メモ

- リスト表示のチャンネル番号は、検索された順番を示します。従ってデジタル放送のチャンネル番号と同一ではありません。

5 リスト表示横の▲または▼をタッチして、リストを変更して視聴したい局を探す

6 視聴したい放送局をタッチする

タッチした局の表示がオレンジ色に変わります。

7 リスト表示下の をタッチする

視聴したい局の放送が表示されます。

8 放送が表示されている画面をタッチする

全画面表示になります。
全画面表示の時に、画面をタッチすると放送とメニューの表示に戻ります。

注意

- **車両を運転中や歩行中にワンセグ TV は見ないでください。交通事故の原因となることがあります。**
- **車両を運転中や歩行中にワンセグ TV の操作はしないでください。交通事故の原因となることがあります。**

メモ

- ナビゲーション中に TV ボタンを押しても、ワンセグ TV には切り替わりません。TV ボタンを押すと注意のメッセージが出ます。
  注意メッセージの［OK］をタッチしてナビゲーションに戻って、ナビゲーションを終了させてからワンセグ TV をご覧ください。
- 放送局の設定が済んでいるときは、手順 **3** から **8** の操作は必要ありません。

ワンセグ TV を見る

1 ワンセグ用アンテナを伸ばし、TV ボタンを押す

［**エンタテインメント**］のワンセグをタッチしてもワンセグ TV は始まります。

2 見たい放送局を選ぶ

放送局を選ぶには、次の方法があります。
チャンネルリストから選ぶ、チャンネル番号を入力する、＋/－ボタンで変更する

チャンネルリストから選ぶ

1 **をタッチする**
チャンネルリストが表示されます。

2 **見たいチャンネルをタッチする**
タッチされたチャンネルがオレンジ色に変わります。
見たいチャンネルが表示されていない場合は、▲または▼をタッチしてリストを移動してください。

3 **チャンネルリスト下の をタッチする**
見たい放送局を受信します。

チャンネル番号を入力して局を選ぶ

1 **をタッチする**
キーボードが表示されます。

2 **見たいチャンネルの番号をタッチする**
ここでのチャンネル番号は本機が検索したときに付けたチャンネル番号です。したがって、地デジのチャンネル番号と同一ではありません。
タッチする番号を間違った場合は、(←|)をタッチすると文字を一文字消去できます。

3 **をタッチする**
見たい放送局を受信します。

4 **元のメニュー表示に戻るには、 をタッチする**
元のメニュー表示に戻ります。

＋または－を押して局を選ぶ

1 **＋または－をタッチする**
＋をタッチすると大きいチャンネル番号に移っていきます。
－をタッチすると小さいチャンネル番号に移っていきます。

視聴中の局の情報を見る

視聴中の局に関する番組表などのEPG(Electronic Program Guide：電子番組表)情報を見ることができます。

1 タッチスクリーンのどこかにタッチし、ワンセグ TV メニューを表示する

視聴している画面の上に、ワンセグ TV メニューが表示されます。

2 ワンセグ TV メニューの をタッチする

▼

EPG の表示画面に変わります。

3 番組の内容を表示するには、番組名を選び、タッチする

▼

番組の内容が情報表示ボックスに表示されます。
番組により番組内容が表示されないことがあります。

4 テレビ画面に戻すには、 をタッチする

メモ

- 局や放送により EPG に表示される内容が違う場合があります。また、実際の放送と EPG に表示される番組が違うこともあります。

音声を切り換える

二ヶ国語放送を受信したときに、主音声のみ、副音声のみのようにお聴きになりたい方だけを聴くことができます。

1 タッチスクリーンのどこかにタッチし、ワンセグ TV メニューを表示する

視聴している画面が小さくなり、右側にワンセグ TV メニューが表示されます。

2 をタッチする

は、タッチする度に、次のように変わります。

：主・副音声

：副音声

：主音声

ワンセグ TV の字幕を設定する

ワンセグ TV に表示される字幕を表示したり、消したりすることができます。

1 タッチスクリーンのどこかにタッチし、ワンセグ TV メニューを表示する

視聴している画面が小さくなり、右側にワンセグ TV メニューが表示されます。

2 をタッチする

▼

のアイコンが に変わり、字幕が消えます。

3 字幕を再度表示するには、字幕のアイコンをタッチする

メモ

- 字幕をオンにしても、視聴する番組によっては、字幕の無いものもあります。

ワンセグ TV の検索方法を設定する

検索を行う地域の設定や検索方法の設定を行います。

1 タッチスクリーンのどこかにタッチし、ワンセグ TV メニューを表示する

視聴している画面が小さくなり、右側にワンセグ TV メニューが表示されます。

2 をタッチする

検索設定のメニューが表示されます。

3 受信できる局を自動で検索するときは、「オートスキャン」を選ぶ
地域を設定して検索するときは、「地域指定」を選ぶ

4 手順 3 で設定した条件で検索を行うときは、 をタッチする

検索を行わないときは、 をタッチしてください。

メモ

- 検索を行うと、今までのチャンネルは削除され、新たに検索を行ったチャンネルリストが作成されます。電波の状態などにより、検索されずチャンネルリストに表示されない局が出てくることがあります。
- 電波の状態などにより、設定した地域以外の局がチャンネルリストに表示されたり、設定した地域の局でも表示されないことがあります。

ナビゲーションから他のデータ再生へ切り換える

ナビゲーションから他のモードへ切り換えるには、メインメニューに戻る必要があります。

1 ナビゲーションメニューに戻り、[ナビ設定] をタッチする

2 [X終了] をタッチする

3 確認ダイアログが開きますので、[OK] をタッチする

▼

ナビゲーションが終了して、メインメニューに戻ります。

4 メニューから切り換える他のモードのタグをタッチする

ワンセグの視聴、音楽、動画、写真の再生を行う場合は、エンタテインメントのタグをタッチします。

画面の輝度、音量、電池残量の確認、タッチ画面の補正、ソフトウェアのバージョンを確認する場合は、設定のタグをタッチします。

再生するデータのダウンロードについて

用意した動画、音楽、写真データを SD カードへコピーして、本機にて再生させることができます。但し、SD カードへのコピーは SD カードを、カードリーダー・SD カードアダプタ等を利用してパソコンと接続する必要があります。
お使いのパソコンに SD カードスロットがある場合は、直接パソコンの SD カードスロットへ装着してください。

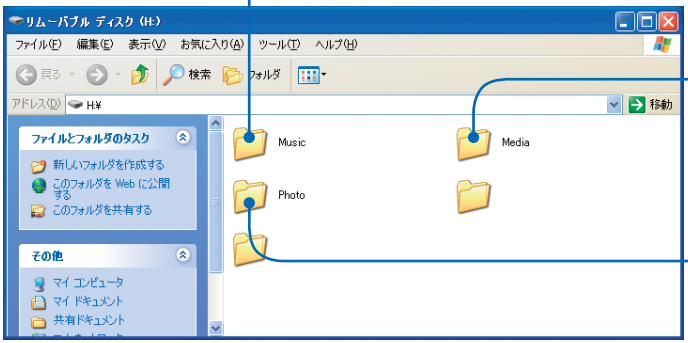
1 カードリーダーまたは SD カードアダプタ等をパソコンに接続する
（カードリーダーは、SD カードスロットが必要です。）

2 カードリーダーまたは SD カードアダプタがパソコンに認識したことを確認し、SD カードスロットへ SD カードを装着する

3 パソコンのエクスプローラの画面より、装着した SD カード（リムーバブルディスクとして表示）を選択して、内容を表示させる
SD カードスロットのあるパソコンの場合は、リムーバブルディスクと表示しない場合もあります。

4 各データを入れるために次のフォルダーを作る
Media：動画データ用、Music：音楽データ用、Photo：写真データ用

5 作成したデータを本機の SD カードの各フォルダーの中へコピーする



音楽データは、[Music] フォルダーの中へコピーします。

動画データは、[Media] フォルダーの中へコピーします。

写真データは、[Photo] フォルダーの中へコピーします。

- 他のフォルダーに入っているデータは、再生できません。例えば、[Media] フォルダーに入っている音楽データは、再生することができません。
- 再生できる動画データの条件は、次のようになります。
  フォーマット形式：AVI、WMV、MPEG4（Xvid 1.0）
  （但し、データにより再生できない場合があります）
  最大ビットレート： 512kbps

- 再生できる音楽データの条件は、次のようになります。
  フォーマット形式：MP3、OGG、WMA、WAV
  最大ビットレート： 320Kbps
- 再生できる写真データの条件は、次のようになります。
  フォーマット形式：JPEG、BMP
  最大ピクセル数：1024 × 768pixels

メモ

- 再生条件に合わないデータは、適合するフォルダーに入っていても表示されません。

SD カードの取り扱い

注意

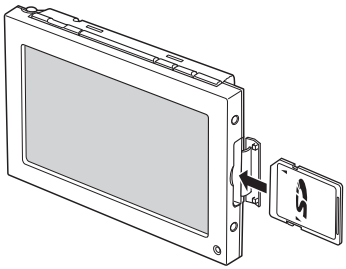
- SD カードを挿入してから電源を入れてください。また、SD カードは音楽・動画・写真などのデータをダウンロードする時を除いて、本機から取り外さないでください。SD カードまたはデータの破損や不具合の原因となることがあります。

メモ

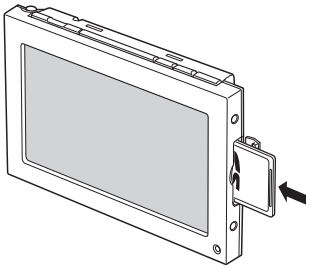
- 新しい SD カードをお買い求めになるときは、下記メーカーの製品をお買い求めになる事をお勧めいたします。
  推奨メーカー：Panasonic、東芝、SanDisk。

1 本機の電源が切れていること、また充電中でないことを確かめる

2 SD カードスロットのカバーを外す

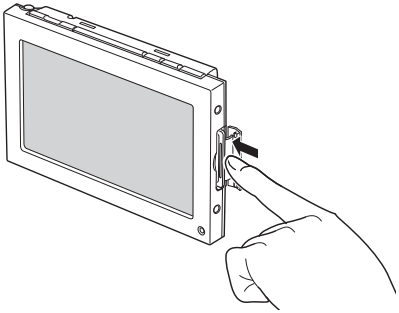


3 SD カードは向きに注意しながら、しっかりと本機に挿入する



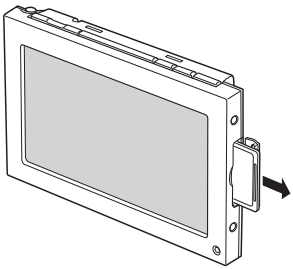
4 SD カードが固定されるまで SD カードを押す

無理に SD カードを押し込むと、本機または SD カードを破損する恐れがあります。



5 SD カードスロットのカバーを閉める

6 SD カードを取り出すときは、本機の電源が切れていること、また充電中でないことを確かめてから、SD カードを押す



SD カードが出てきますので、SD カードを引き抜いてください。

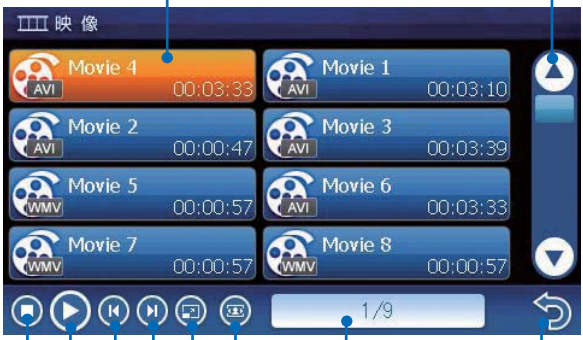
注意

- 音楽、ムービー、写真は、SD カード内の Music、Media、Photo の各フォルダーにデータを入れてください。
- 変形したり、傷ついた SD カードを本機に入れないでください。
- 万一、SD カードが取り出せなくなったときは、無理に取り出そうとせずに、サポートセンターにお問い合わせください。

動画を再生する

映像リスト
再生可能な映像ファイルがリストで表示されます。

映像リストバー
このバーをタッチして、リストに表示されていない映像を表示させます。



■ボタン
このボタンを押すと、映像の最初に戻り、再生を停止し、動画リスト表示になります。

▶ または II ボタン

▶ ボタン
このボタンは、停止中または一時停止中に表示されます。このボタンを押すと、再生を行います。

II ボタン
このボタンは、再生中に表示されます。このボタンを押すと映像の再生を一時停止します。

|◀ ボタン
このボタンを押すと、1 つ前の映像に戻ります。続けて押すと、押すたびに、1 つ前の映像に戻っていきます。

▶| ボタン
このボタンを押すと、1 つ先の映像に移ります。続けて押すと、押すたびに、1 つ先の映像に移っていきます。

全画面表示ボタン
このボタンを押すと、映像が全画面で表示されます。

画面サイズ変更ボタン
このボタンを押すと、画面サイズを選ぶ画面が表示されます。
表示させたい画面サイズをタッチしてください。
画面サイズは、オリジナル、4:3、16:9、ビスタ、シネマから選ぶことができます。

動画番号表示
現在選ばれている動画の番号／トータル動画数が表示されます。

ボタン
このボタンを押すと、メインメニューに戻ります。

動画の再生・停止

1 エンタテインメントメニューを表示させて をタッチする

動画リストが表示されます。

2 動画リストに表示された再生したい動画をタッチし、▶をタッチする

動画の再生が始まります。
再生のアイコン▶が⏸に変わります。
動画の再生が始まると、プログレスバーと音量調整が表示されます。

3 音量を大きくするには、音量調整バーの右端をタッチする

音量を小さくするには、音量調整バーの左端をタッチします。
本体の音量ボタンでも調整は可能です。

4 動画を全画面表示にするには、 をタッチする

表示を元に戻すには、タッチスクリーンのどこかをタッチします。

5 動画を一時停止するには、⏸をタッチする

アイコンが⏸から▶に変わります。▶をタッチすると、一時停止したところより再生が始まります。

6 動画を停止するには、■をタッチする

再生を停止し、動画リスト表示に戻ります。

メモ

- 音量調整バーのポイントより、右側をタッチすると音量は大きくなり、左側をタッチすると音量は小さくなります。
- 選んだ動画の再生が終わると、リストの次の動画が再生されます。
- AVI、WMV、MPEG4（Xvid 1.0）ファイルの再生が可能
  ※但し、ファイルにより再生できない場合があります。再生できないファイルを選ぶと「サポートしていないファイルです。」と表示されます。

動画の早送り・早戻し・選択

1 動画の早送りをするには、プログレスバーの右端をタッチする

動画の早戻しをするには、プログレスバーの左端をタッチします。

2 1つ先の動画に移るには、▶|をタッチする

続けて押すと、押すたびに、1つ先の動画に移っていきます。

3 1つ前の動画に移るには、|◀をタッチする

続けて押すと、押すたびに、1つ前の動画に戻っていきます。

4 動画リストの上側で表示されていない動画を表示させるには、動画リストバーの上端をタッチする

動画リストの下側で表示されていない動画を表示させるには、音楽リストバーの下端をタッチします。

メモ

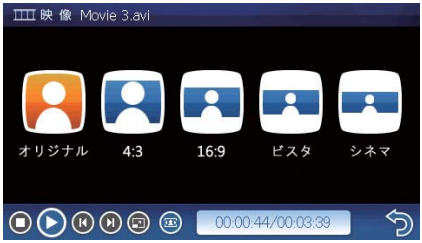
- プログレスバーのポイントより、右側をタッチすると動画の早送りになり、左側をタッチすると動画の早戻しになります。
- 動画の再生中に|◀をタッチすると、再生中の動画の最初に移動し、再生を始めます。
  動画の再生中に▶|をタッチすると、次の動画の最初に移動して再生を始めます。

画面サイズを変更する

動画をお好みの画面サイズで再生することができます。

1 をタッチする

サイズを選択する画面が表示されます。



2 お好みの画面サイズをタッチする

3 再生を開始するには、をタッチする

動画リストに戻るには、をタッチする

音楽を聴く

音楽リスト
再生可能な音楽ファイルがリストで表示されます。
表示されている曲名をタッチすると、再生が始まります。

音楽リストバー
このバーをタッチして、リストに表示されていない曲を表示させます。

■ボタン
このボタンを押すと、再生を停止し、音楽リストに戻ります。

▶ または ❚❚ ボタン

▶ ボタン
このボタンは、停止中または一時停止中に表示されます。このボタンを押すと、再生を行います。

❚❚ ボタン
このボタンは、再生中に表示されます。このボタンを押すと音楽の再生を一時停止します。

|◀◀ ボタン
このボタンを押すと、1 つ前の曲に戻ります。続けて押すと、押すたびに、1 つ前の曲に戻っていきます。

▶▶| ボタン
このボタンを押すと、1 つ先の曲に移ります。続けて押すと、押すたびに、1 つ先の曲に移っていきます。

リピート再生ボタン
このボタンをタッチして、一曲リピート再生と全曲リピート再生を切り替えます。

ランダム再生ボタン
このボタンを押して、ノーマル再生とランダム再生を切り替えます。
一曲リピート再生を選ぶと、ランダム再生ボタンは変更できなくなります。

曲番号表示
現在選ばれている曲の番号／トータル曲数が表示されます。

ボタン
このボタンを押すと、メインメニューに戻ります。

曲の再生・停止

1 エンタテインメントメニューを表示させて をタッチする

音楽リストが表示されます。

2 音楽リストに表示された再生したい曲をタッチする

選ばれた曲が黄色表示に変わります。

3 ▶をタッチする

曲の再生が始まります。
再生のアイコン▶がⅡに変わります。
曲の再生が始まると、プログレスバーと音量調整が表示されます。

4 音量を大きくするには、音量調整バーの右端をタッチする

音量を小さくするには、音量調整バーの左端をタッチします。
本体の音量ボタンでも調整は可能です。

5 曲を一時停止するには、Ⅱをタッチする

アイコンがⅡから▶に変わります。▶をタッチすると、一時停止したところより再生が始まります。

6 曲を停止するには、■をタッチする

再生を停止し、リストに戻ります。

メモ

- MP3、OGG、WMA、WAV ファイルの再生が可能
  ※但し、ファイルにより再生できない場合があります。再生できないファイルを選ぶと「サポートしていないファイルです。」と表示されます。

メモ

- 音量調整バーのポイントより、右側をタッチすると音量は大きくなり、左側をタッチすると音量は小さくなります。
- 選んだ曲の再生が終わると、リストの次の曲が再生されます。

曲の早送り・早戻し・選曲

1 曲の早送りをするには、プログレスバーの右端をタッチする

曲の早戻しをするには、プログレスバーの左端をタッチします。

2 1 つ先の曲に移るには、▶|をタッチする

続けて押すと、押すたびに、1 つ先の曲に移っていきます。

3 1 つ前の曲に戻るには、|◀をタッチする

続けて押すと、押すたびに、1 つ前の曲に戻っていきます。

4 音楽リストの上側で表示されていない曲を表示させるには、音楽リストバーの上端をタッチする

音楽リストの下側で表示されていない曲を表示させるには、音楽リストバーの下端をタッチします。

メモ

- プログレスバーのポイントより、右側をタッチすると曲の早送りになり、左側をタッチすると曲の早戻しになります。
- 曲の再生中に|◀をタッチすると、再生中の曲の最初に移動し、再生を始めます。
  曲の再生中に▶|をタッチすると、次の曲の最初に移動して再生を始めます。

写真を再生

写真リスト
再生可能な写真ファイルがリストで表示されます。

写真リストバー
このバーをタッチして、リストに表示されていない写真を表示させます。

■ボタン
このボタンを押すと、写真リストに戻ります。スライドショー中にこのボタンを押すと、スライドショーを中止して、写真リストに戻ります。

ボタン
このボタンを押すと、メインメニューに戻ります。

写真番号表示
現在選ばれている動画の番号／トータル動画数が表示されます。

または II ボタン

全画面表示ボタン
このボタンを押すと、写真が全画面で表示されます。

ボタン
このボタンは、スライドショーの停止中または一時停止中に表示されます。このボタンを押すと、スライドショーが始まります。

▶| ボタン
このボタンを押すと、1 つ先の写真に移ります。続けて押すと、押すたびに 1 つ先の写真に移っていきます。

II ボタン
このボタンは、スライドショー中に表示されます。
このボタンを押すとスライドショーを一時停止します。

|◀ ボタン
このボタンを押すと、1 つ前の写真に戻ります。続けて押すと、押すたびに 1 つ前の写真に戻ります。

写真の表示・スライドショー

1 エンタテインメントメニューを表示させて 写真 をタッチする

写真リストが表示されます。

2 写真リストに表示された再生したい写真をタッチする

選んだ写真が表示されます。

3 スライドショーを始めるには、▶をタッチする

スライドショーが始まります。

4 写真を全画面表示にするには、▣をタッチする

表示を元に戻すには、タッチスクリーンのどこかをタッチします。

5 スライドショーを一時停止するには、⏸をタッチする

⏸から▶に変わります。▶をタッチすると、一時停止したところより再生が始まります。

6 スライドショーを停止するには、■をタッチする

写真リストに戻ります。

メモ

- JPEG、BMP ファイルの再生が可能
  ※但し、ファイルにより再生できない場合があります。再生できないファイルを選ぶと「サポートしていないファイルです。」と表示されます。
- スライドショーでは、全ての写真が表示されると、最初の写真に戻りスライドショーを続けます。

写真の選択

1 1 つ先の写真に移るには、⏭をタッチする

続けて押すと、押すたびに、1 つ先の写真に移っていきます。

2 1 つ前の写真に移るには、⏮をタッチする

続けて押すと、押すたびに、1 つ前の写真に戻っていきます。

3 写真リストの上側で表示されていない写真を表示させるには、写真リストバーの上端をタッチする

写真リストの下側で表示されていない写真を表示させるには、写真リストバーの下端をタッチします。

設定を変更する

音量設定、画面の輝度設定やソフトウェアの情報、そしてタッチスクリーンの調整ができます。
またバッテリーの残量も確認できます。

電池残量
電池残量を確認するには、ここをタッチします。現在の電池残量が画面に表示されます。

明るさ
画面の明るさを変更するには、ここをタッチします。明るさの変更を行う画面が表示されます。

音量
音量を変更するには、ここをタッチします。音量の変更を行う画面が表示されます。

タッチ画面補正
実際にタッチした箇所と違う箇所が動作するようなときに、画面の調整をする為にここをタッチします。タッチ画面補正を行う画面が表示されます。

FM トランスミッター
車などの FM ラジオを使って、本機から出る音声と同じ音声を聞くことができます。

ソフトウェア情報
ソフトウェアのバージョンやメモリの空き容量を確認するには、ここをタッチします。ソフトウェアに関する情報が表示されます。

明るさを設定する

バックライトの明るさを5段階で設定できます。

1 設定メニューを表示させて［明るさ］をタッチする

▼

輝度設定バーが表示されます。

2 輝度設定バーの横にある◀または▶をタッチし輝度を設定する

3 ［OK］をタッチする

設定メニューに戻ります。

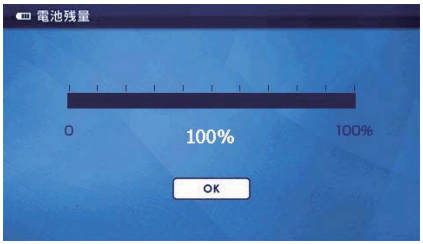
メモ

- ナビゲーション時の輝度もこの設定により変化します。ナビゲーション時に輝度を変更しても画面が暗く感じられたり、まぶしく感じられるときは、［**ナビ設定**］の［**表示設定**］で配色を変更してみてください。

バッテリー状態を確認する

バッテリーの残量や充電状態が確認できます。

1 設定メニューを表示させて［電池残量］をタッチする



バッテリーの残量がインジケーターで表示されます。
バッテリーが充電中は、インジケーターが左から右に移動します。
充電完了時は、全てのインジケーターが表示された状態になります。

2 ［OK］をタッチする

設定メニューに戻ります。

音量を設定する

本機の音量を 6 段階で設定できます。

1 設定メニューを表示させて をタッチする

▼

音量設定バーが表示されます。

2 音量設定バーの横にある◀または▶をタッチし、音量を変更する

音量設定バーを一番左端に設定すると、消音状態になり音は出ません。

3 [OK] をタッチする

設定メニューに戻ります。

メモ

- 音楽リストや動画リストで表示される音量調整バーを使っても音量は変更できます。
- 本機の音量ボタンを押しても、音量は調整できます。

画面調整

実際にタッチした箇所と違う箇所が動作するようなときに、画面の調整をする為に使います。

重要

- 画面調整を行う際にスタイラス（スタイラスペン）をお使いになるときは、先が金属製のものは避けてください。先が金属製のスタイラス（スタイラスペン）を使用するとタッチスクリーンの故障の原因となることがあります。

1 設定メニューを表示させて をタッチする

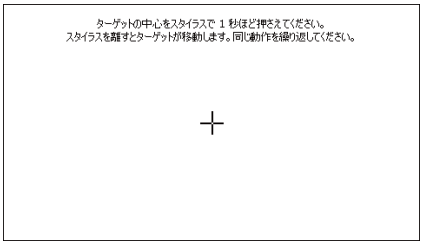
▼

画面調整が表示されます。

2 画面調整の中心をタッチする

調整するためのターゲット（＋）が画面中央に表示されます。

▼



3 画面中央のターゲット（＋）をタッチする

ターゲットをタッチすると、ターゲットは中央→左上→左下→右下→右上の順に 4 隅を移動しますので、順次タッチしていってください。

4 調整が完了すると、メッセージが出ますので、タッチスクリーンのどこかを 30 秒以内にタッチする

▼

設定画面に戻ります。
設定後から 30 秒経過してもタッチスクリーンがタッチされないときは、変更した設定は取り消されます。
調整に失敗すると、再度ターゲットが中央に表示されますので、再度調整を行ってください。

メモ

- 調整が完了しても、実際にお使いになるときに、タッチする箇所と動作する箇所がずれる。または、何度やっても調整に失敗するような場合は弊社のサービスセンターにお問い合わせください。

FM トランスミッター

車などの FM ラジオを使って、本機から出る音声と同じ音声を聞くことができます。

1 設定メニューを表示させて FM を タッチする

▼

FM トランスミッターの設定が表示されます。

2 周波数設定バーの横にある ◀ または ▶ をタッチし周波数を設定する

3 FM トランスミッター機能をオンにするために、[FM ON] をタッチする

[FM OFF] 表示に変わります。

4 [OK] をタッチする

設定画面に戻ります。

注意

- 周波数を設定しても、手順 **3** で [FM ON] を設定しないと FM トランスミッター機能は使えません。
- 表示が [FM OFF] の場合、FM トランスミッター機能は有効になっています。

メモ

- 設定する周波数は、その周波数および近く周波数で放送局が使っていない周波数を選んでください。また、旅行などで移動した時は、その地方の放送局とお使いになる FM トランスミッターの周波数が近くないことをお確かめください。FM 放送の特性上、電波の強い局を受信します。

FMトランスミッター用アンテナの取り付け

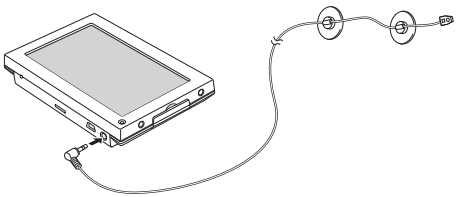
FMトランスミッター用アンテナを取り付けることで、FMラジオでより明瞭に受信できます。

注意

- FMトランスミッター用アンテナは運転に支障をきたさない場所に設置してください。

1 トランスミッター用アンテナのプラグをイヤホン接続端子に接続する

2 運転に支障をきたさない場所を選んで、トランスミッター用アンテナの吸盤を使って、アンテナを設置する



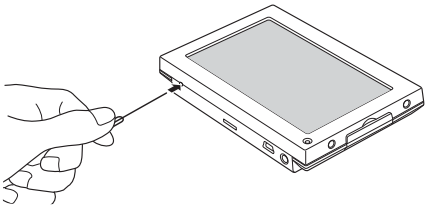
注意

- トランスミッターで使用時の音量の調整は、受信側ラジオで行ってください。

本機のリセット方法

1 本機裏面のリセットスイッチを押す

電源が一度切れ、再度電源が入ります。



工場出荷状態に戻ります。但し、ナビゲーションの各種の情報はリセットされません。

本機をリセットしても問題が解決されない場合は、サポートセンターへお問い合わせください。

故障かなと思ったら

製品が正常に作動しない場合には、まず以下の内容をご確認ください。

症　状	処　置
電源が入りません。	バッテリーが切れている場合があります。充電してください。
	電源スイッチを表示が出るまで長く押してください。電源スイッチは、誤って電源が入るのを防ぐために長押しをしなければ電源が入らないようになっています。
電源スイッチを長押ししても、電源が入りません。	バッテリーが使い切られていませんか。充電をしてみてください。
電源を入れてから、メインメニューが表示されるまでに時間がかかります。	電源を入れると、通常のパソコンのように OS が立ち上がります。If Brand 表示が出ている間は OS が起動している最中です。
充電後本機が暖かくなります。	充電後本機は、多少暖かくなりますが、不具合ではありません。
実際の進行方向と自車マークとの向きが合っていません。	地図表示がノースアップになっていると北が常に上になります。実際の進行方向と自車マーク方向を合わせるには、地図表示をヘッドアップにしてください。
ルート誘導が始まりません。	ルート誘導を始めるには、２次元測位以上ができなくてはなりません。GPS 信号測位表示をご確認ください。特に回りに高いビルや木などがあり、GPS から信号が妨害されていることがあります。
名称検索でひらがなを２文字以上入れても「２文字以上を入力してください。」と表示されます。	入力した文字の下に点線は出ていませんか。文字の下に点線が出ている場合は、文字はまだ決定されていません。文字を決定するには↵(決定)をタッチして文字を確定してください。
どうすればナビゲーションからメインメニューに戻れるか分かりません。	「メニュー」をタッチし、ナビゲーションメニューから「ナビ設定」を選び、ルート探索設定の表示で「終了」を選びます。
ナビゲーションで現在地が正しく表示されません。	GPS からの信号が正しく受信できていない場合があります。GPS の信号を受信できる場所に移動してみてくだい。また、GPS の信号を正しく受けるまでに、少し時間がかかる場合があります。

症　状	処　置
スピーカーから音が出ません。	イヤホン接続端子にイヤホンまたはヘッドホンが接続されていませんか。イヤホン等が接続されていると本機のスピーカーから音は出ません。
	FM トランスミッター機能が “ON” になっている場合には、音が出ません。設定の画面からトランスミッターを “OFF” にしてください。OFF にするには説明書の P81 を参照してください。
ワンセグ放送が受信できません。	移動したために受信環境が変化したと推測されます。 ①局の検索を実施してみてください。 ②良好に受信できそうな、見通しの良い場所に移動してみてください。
音楽データ等の再生ができません。	データが、SD カード内の正しいフォルダーに入っていない場合があります。また、正しいフォルダーに入っていても、再生できる条件に合っていないがあります。条件に合ったデータを正しいフォルダーに入れてください。
動画または音楽データのリスト名をタッチしても再生しません。	リスト名をタッチすると、そのデータが選択されたことになります。再生するには更に ▶ をタッチしてください。

サポートセンターへのお問い合わせ方法

ご使用の製品とご使用環境に関する「サポートに必要な情報」が必要となります。全ての情報をご用意いただいた上でお問い合わせいただきますと、より早い対応が可能となります。

サポートに必要な情報

- ご使用の製品名「DTN-X700」
- 本体裏面シールに記載されているシリアル番号(S/N)
- 再生したデータ形式(WMA、MP3、AVI、MPV、MPG、JPG 等)
- データを作成する際に使用したソフトウェアの名称
- 具体的なお問い合わせの内容
  行なった操作、手順、発生した不具合の状況について詳細にお知らせください。また、エラーメッセージなどが表示されている場合は、メモをとってお知らせください。

トライウインサポートセンター

住所：
〒 331-0812
埼玉県さいたま市北区宮原町 1-677

電話：
0570-030-100

電子メール：
support@trywin.co.jp

受付時間：
月曜日～金曜日(祝日および当社の休日を除く)
午前 10:00 ～午後 6:00

Web ページアドレス：
http://www.trywin.co.jp/

無償修理規定

取扱説明書(本書)、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には無償修理をさせていただきます。原則的に持込修理となります。

無償修理をご依頼になる場合には、商品に本書を添えていただき、お買い上げの販売店または、トライウイン・サポートセンターまでお申し付けください。

保証期間内でも次の場合には原則として有償とさせていただきます。

(イ) 使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
(ロ) お買い上げ後の取り扱いの不備、落下などによる故障、および損傷。
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変および公害、塩害、ガス害、異常電圧、指定以外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障および損傷。
(ニ) 保証書のご添付がない場合。
(ホ) 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句などを書き替えられた場合。
(ヘ) 船舶または業務用に使用された場合の故障および損傷。
(ト) 持込修理の対象商品を直接窓口へ送付した場合の送料等は、お客様のご負担となります。

保証書は国内においてのみ有効です。
（The warranty is valid only in Japan.）
保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

お客様にご記入いただいた個人情報（保証書控）は、保証期間内の無償修理対応および、その後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。
従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、トライウイン・サポートセンターまでお問い合わせください。

IPN データ権利文言

地図について

- この地図の作成に当たっては、財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。(測量法第 44 条に基づく成果使用承認 06-041)[2007 年 9 月発行データ使用]
- この地図の作成に当たっては、国土交通省国土地理院の承認を得て、同院発行の 2.5 万分の 1 地形図及び 20 万分の 1 地勢図を使用しました。測量法に第 30 条に基づく成果使用承認　平 17 企指公第 1 号、平 8 総使第 31 号)
- この地図は小田原市長の承認を得て、同市発行の 2500 分の 1 国土基本図を使用しました。(承認番号) 平成 10 年 小田原市指令第 52 号
- この地図の作成に当たっては、知多市長の承認を得て、同市発行の 2,500 分の 1 の都市計画基本図を使用しました。(測量法第 44 条に基づく成果使用承認　平成 12 年度 知都発第 170 号)
- この地図は、養老町長の承認を得て、同町所管の 2500 分の 1 都市計画図を使用しました。(平成 12 年　養建第 1902 号)
- この地図は、貴志川町長の承認を得て同町発行の 2500 分の 1 全図を使用し、調整しました。(承認番号)平 10. 近公. 第 34 号
- この地図は大木町の承認を得て、同町発行の 5,000 分の 1 の地形図を使用し調整したものです。(15 大木建第 734 号)
- この地図は、堀金村長の承認を得て、1/2,500 の都市計画図を参照して作成したものです。(承認番号)平成 17 年　16 堀第 5417 号
- この地図は東近江市長の承認を得て、同市発行の地形図 1/2,500 使用し、調製したものです。(承認番号　東開第 111 号　平成 18 年 2 月 28 日承認)
- 新刊地形図更新は 2006 年 3 月刊行分を反映しました。
- 通常地図は 2006 年 10 月 1 日までに供用、廃止される情報まで対応します。但し、2006 年 4 月調査時点で取得できた情報までとします。
- 新規開通高速道路は 2006 年 4 月の調査時点で 2006 年 10 月 1 日までに供用される新規道路を収録の対象とします。(但し、道路形状と基本的属性のみとなります)路線名称未定の路線については、仮名称で対応します。
- 自然災害による道路形状の変更等につきましては対応いたしかねます。
- 住所データについては 2006 年 3 月住所マスターデータを使用します。
- 市区町村合併につきましては、2006 年 10 月 1 日施行分まで対応します。但し、2006 年 4 月時点で取得できた情報までとします。
- データベース作成時点の関連で、表示される情報が現状と異なる場合がありますのでご了承ください。
- いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。

交通規制データについて

- 本製品に使用している交通規制データは、道路交通法に基づき全国交通安全活動推進センターが作成した交通規制番号図を用いて、(財)日本交通管理技術協会(TMT)が作成したものを使用しています。TMT 承認番号 08-87
- 本製品に使用している交通規制データは、2007 年 4 月現在のものです。本データが現場の交通規制と違う場合は、現場の交通規制標識・表示等に従って下さい。
- 本製品に使用している交通規制データの著作権は、(財)日本交通管理技術協会が有し、二次的著作物作成の使用実施権をインクリメント P (株)が取得しています。本品に使用している交通規制データを無断で複写・複製・加工または改変することはできません。
  ©2007 TMT
- 信号機データは KKD 提供データをベースに 2005 年 9 月独自調査の結果を反映します。

- 一般道方面看板は 2005 年 9 月独自調査の結果を反映します。
- レーン情報は 2005 年 9 月独自調査の結果を反映します。
- 高速道路（有料道路を含む）料金表データは 2006 年 4 月調査で 2006 年 10 月 1 日時点の軽自動車・中型自動車・普通自動車の料金を取得します。
- 高速施設は 2006 年 4 月調査で 2006 年 10 月 1 日時点に供用されている施設を取得します。

注意

- この地図に使用している交通規制データは普通車両に適用されるもののみで、大型車両や二輪車等の規制は含まれておりません。
あらかじめご了承ください。

©2007 TMT　©2008（財団法人）日本デジタル道路地図協会　©2008 INCREMENT P CORP.

使用許諾契約書

重要 — 以下の使用許諾契約書を注意してお読みください。

本使用許諾契約書（以下、「本契約書」といいます。）は、ポータブルナビゲーション DTN-X700（以下、「本製品」といいます。）用のアプリケーションソフトウェア、地図データ、検索情報データその他コンテンツ情報データ等（以下、「本ソフト」といいます）の使用権をお買い上げいただいたお客様（以下、「お客様」といいます。）とインクリメントＰ株式会社（以下、「弊社」といいます。）との間に締結される法的な契約書です。本ソフトをインストールまたは使用することによって、お客様は本契約書の条項に拘束されることに同意されたものとします。本契約書の条項に同意されない場合、弊社は、お客様に本ソフトのインストールまたは使用のいずれも許諾できません。

1. 本ソフトの使用許諾

(1) 本ソフトは、著作権法をはじめ、その他の産業財産権に関する法律および条約によって保護されています。本ソフトの著作権その他産業財産権は、弊社または弊社に権利を許諾した第三者に帰属します。
(2) 弊社は、お客様が、本ソフトを一時点において 1 台の本製品でのみ使用することができる非独占的な権利をお客様に許諾します。

2. 制限事項

(1) お客様は、本契約書に明記されている場合を除き、本ソフトの一部または全部をインストール、複製、使用または改変等することはできません。
(2) お客様は、本ソフトの一部でも複製、抽出、転記、改変、公衆送信することまたは同時に 2 台以上の本製品で同時に使用することはできません。
(3) お客様は、有償・無償を問わず、本ソフトの一部または全部を第三者に譲渡、再使用許諾、貸与等することはできません。
(4) お客様は、本ソフトに関し、本契約書において許諾された以外の使用をすることはできません。
(5) お客様は、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルその他これらに準ずる行為を行うことはできません。

3. 保証

法律上の請求原因の種類を問わず、弊社は、本契約書または本ソフトに含まれるマニュアル等の文書に明記されている場合を除き、本ソフトを現状有姿のまま瑕疵を問わない条件で提供するものとします。本ソフトの正確性、完全性、有用性、特定の目的に対する適合性、応答の的確性、使用結果、権利侵害の不存在および過失の不存在について、明示または黙示、あるいは法律上のものであることを問わず、一切保証できません。

4. 免責

弊社は、本ソフトの使用もしくは使用不能により、お客様または第三者に生じた特別損害、付随的損害、間接損害、派生的損害またはその他の一切の損害（逸失利益、機密情報もしくはその他の情報の喪失、事業の中断、プライバシーの喪失、誠実または合理的な注意義務を含めた義務の不履行、人身傷害またはその他の金銭的損失を含みますがこれらに限定されません。）に関して一切責任を負いません。

5. 責任の制限

本ソフトに関する弊社のお客様に対する損害賠償責任の範囲は、本ソフトの使用もしくは使用不能により、お客様に直接かつ生ずべき損害（弊社が予見しまたは予見できた場合を含みます。）に限られるものとし、その賠償額は、本ソフトと同等の機能を有する弊社製品の標準的価格を限度とします。

6. 輸出規制

お客様は、すべての輸出入関連適用法令（関連する禁輸措置および制裁措置を含みます）を遵守することに同意されたものとします。

7. 契約の終了

(1) お客様が本契約中のいずれかの条項の一つに違反した場合、弊社からの通知を要することなく、自動的に本契約は終了します。
(2) 本契約が終了した場合には、お客様は、自己が保存した本ソフト（本契約に違反して作成された複製物等を含みます。）の全てを消去するものとします。
(3) お客様は、理由の如何を問わず、本契約の終了について、弊社および弊社が使用許諾を受けている権利者に対して補償金その他如何なる目的での支払いも請求できないものとします。

8. 管轄裁判所

お客様と弊社との間で紛争が生じた場合は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

9. 準拠法

本契約は、日本国法に準拠するものとします。

10. 協議

本契約書に定めのない事項または本契約書の各条項の解釈について疑議が生じた場合は、お客様および弊社は、信義に従い誠意をもって協議し解決するものとします。

以上

仕様

寸法	(W) 117mm × (H) 79mm × (D) 18mm (突起物を含まず)
重量	約 200g (内蔵充電池含む、SD カード含まず)
スクリーン	4.3-inch　TFT タッチスクリーン
メモリー	SD/MMC メモリーカード
電源	1280mAh リチウムポリマー電池
消費電流	最大 1A
入力電圧	5V (± 5%)
CPU	CoreLogic CLM6500
GPS モジュール	STMicro STA8058
アンテナ	本体内蔵式
Operating System	Windows® CE 5.0
動作温度保証範囲	-10℃～ +55℃

メモ

Trywin

Printed in China

DTNX700001-A